

資料編 2



1 NAAの組織・業務内容など

1. 社名

成田国際空港株式会社
(英文：NARITA INTERNATIONAL AIRPORT CORPORATION)

2. 代表者

代表取締役社長 田村 明比古

3. 社員数

754人(2019年10月31日現在)

4. 組織(次ページ参照)

5. 事務所

①本社

千葉県成田市古込字古込1番地1
(成田市成田国際空港内NAAビル)

②その他

東京都千代田区丸の内2-2-1(東京事務所)
千葉県千葉市美浜区新港234(千葉港頭事務所)
千葉県四街道市山梨字松山下2351(四街道事務所)

6. 資本金

1,000億円

7. 設立

2004年(平成16年)4月1日

8. 発行済株式総数

200万株

9. 株主

国土交通大臣(90%)、財務大臣(10%)

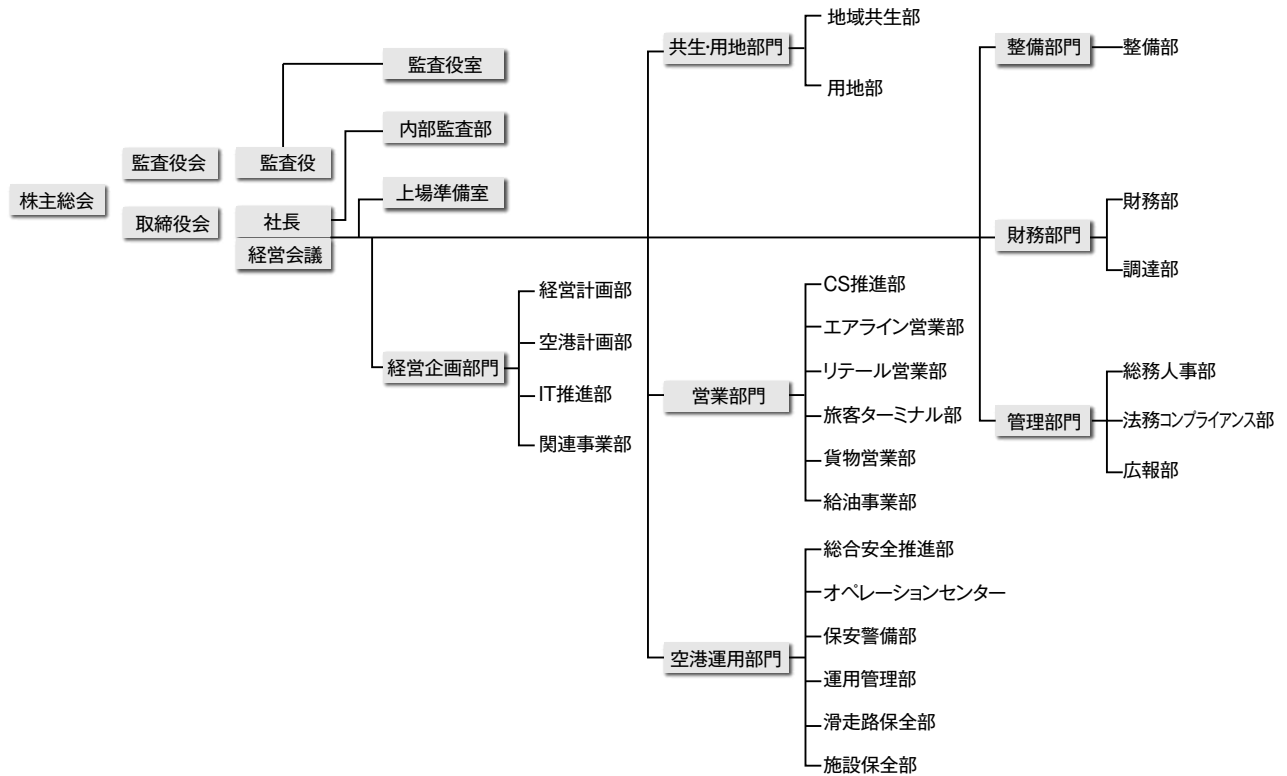
10. 事業内容

(1)成田国際空港の設置及び管理を効率的に行うこと等により、航空輸送の利用者の利便の向上を図り、もって航空の総合的な発展に資するとともに、我が国の産業、観光等の国際競争力の強化に寄与することを目的として、次の事業を営む。

- ① 成田国際空港の設置及び管理
- ② 成田国際空港における航空機の離陸又は着陸の安全を確保するために必要な航空保安施設の設置及び管理
- ③ 航空旅客及び航空貨物の取扱施設、航空機給油施設その他の成田国際空港の機能を確保するた

めに必要な航空保安施設の建設及び管理

- ④ 事務所、店舗その他の成田国際空港を利用する者の利便に資するために成田国際空港の敷地内に建設することが適当であると認められる施設の建設及び管理
 - ⑤ 成田国際空港の周辺における航空機の騒音等により生ずる障害を防止し、又はその損失を補償するために行う次に掲げる事業
 - イ 緩衝地帯の整備のための土地等の取得、造成、管理及び譲渡
 - ロ 騒音防止工事等を行う者に対する助成
 - ハ 住居を移転する者等に対する損失の補填及びその所有する土地の買入れ
 - ニ イからハまでに掲げるもののほか、成田国際空港の周辺における航空機の騒音等により生ずる障害を防止し、又はその損失を補償するために行う事業
 - ⑥ 前号に掲げるもののほか、成田国際空港の周辺における生活環境の改善に資するために行う次に掲げる事業
 - イ 成田国際空港の周辺における航空機の騒音等により生ずる生活環境への影響を緩和するために必要であると認められる事業であって成田国際空港の機能の発揮に資するものを行う者に対し、出えんする事業
 - ロ 成田国際空港の周辺における航空機の騒音等により生ずる障害の防止、成田国際空港の周辺の地域の整備その他の成田国際空港の周辺における生活環境の改善に資する事業を行う地方公共団体に対し、交付金を交付する事業
 - ハ イ及びロに掲げるもののほか、成田国際空港の周辺における生活環境の改善に資するために行う事業
 - ⑦ 前各号の事業に附帯する事業
 - ⑧ 前各号に掲げるもののほか、その目的を達成するために必要な事業
- (2)海外社会資本事業への我が国事業者の参入の促進に関する法律に基づき、同法の目的を達成するため、同法第3条第1項の基本方針に従って、次の事業を営む。
- ① 海外の空港の整備及び運営並びにこれらに関する調査
 - ② 前号に掲げる事業に附帯する事業



11. NAAグループ会社一覧

(2019年9月1日現在)

セグメント	社名	主な事業	設立年月日
空港運営	エアポートメンテナンスサービス(株)	空港土木施設、建築施設の保守管理、テナント内装工事	1985.06.01
	(株)成田エアポートテクノ	旅客ターミナルビル付帯設備・特殊設備の保守管理	1997.01.20
	(株)NAAファシリティーズ	航空灯火、空港諸施設付帯設備の保守管理	2004.11.01
	空港情報通信(株)	空港内ネットワーク、フライト情報提供サービス、無線施設の保守管理、ソフトウェア開発、電話事業	1989.03.01
	成田空港給油施設(株)	航空機給油施設の保守管理	2005.10.01
	日本空港給油(株)*	成田空港を離着陸する航空機に対する給油サービス	1977.12.01
	NAAセーフティサポート(株)	成田空港の警備・消火救難、場面管理、警備設備保守管理、空港利用者への案内	2005.04.11
	(株)成田空港ビジネス	旅客ターミナルビル内の手荷物カートサービス、人材派遣および植栽事業	2002.08.28
リテール	(株)NAAリテイリング	旅客ターミナルビルにおける「Fa-So-La」ブランドでの各種免税品、食品、民芸品などギフト商品、電化製品、旅行用品、医薬品などの販売および飲食店の経営、市中の空港型免税店からの免税品引渡し業務	2004.05.26
	(株)グリーンポート・エージェンシー	海外旅行保険、宅配便サービス、外貨両替、バス乗車券販売などの各種サービス提供、空港内の広告販売、イベントの企画・運営、整備地区の事務所ビルの貸付および空港周辺の騒音用地などの管理・貸付、自動販売機による清涼飲料水などの販売	1979.03.14
鉄道	芝山鉄道(株)	芝山鉄道線(東成田～芝山千代田間)の運行	1981.05.01
	成田高速鉄道アクセス(株)	成田高速鉄道アクセス線の鉄道施設の保有および貸付	2002.04.25

※持分法適用関連会社

2 成田国際空港株式会社法

(平成15年7月18日法律第124号)

改正 平成16年6月 9日法律第88号

改正 平成17年7月26日法律第87号

改正 平成20年6月18日法律第75号

改正 平成26年6月27日法律第91号

目次

第一章 総則（第一条―第四条）

第二章 事業等（第五条―第十四条）

第三章 雑則（第十五条―第十七条）

第四章 罰則（第十八条―第二十三条）

附則

第一章 総則

（会社の目的）

第一条 成田国際空港株式会社（以下「会社」という。）は、成田国際空港の設置及び管理を効率的に行うこと等により、航空輸送の利用者の利便の向上を図り、もって航空の総合的な発達に資するとともに、我が国の産業、観光等の国際競争力の強化に寄与することを目的とする株式会社とする。

（成田国際空港）

第二条 この法律において「成田国際空港」とは、附則第十二条第一項の規定により会社が新東京国際空港公団（以下「公団」という。）から承継した空港をいう。

（成田国際空港等の設置及び管理）

第三条 成田国際空港及び成田国際空港における航空機の離陸又は着陸の安全を確保するために必要な航空法（昭和二十七年法律第二百三十一号）第二条第五項に規定する航空保安施設の設置及び管理は、国土交通大臣が定める基本計画に適合するものでなければならない。

2 前項の基本計画に関し必要な事項は、政令で定める。

（商号の使用制限）

第四条 会社以外の者は、その商号中に成田国際空港株式会社という文字を使用してはならない。

第二章 事業等

（事業の範囲）

第五条 会社は、その目的を達成するため、次の事業を営むものとする。

- 一 成田国際空港の設置及び管理
- 二 成田国際空港における航空機の離陸又は着陸の安全を確保するために必要な航空法第二条第五項に規定する航空保安施設の設置及び管理
- 三 成田国際空港の機能を確保するために必要な航空旅客及び航空貨物の取扱施設、航空機給油施設その他の政令で定める施設並びにこれらの施設以外の施設で成田国際空港を利用する者の利便に資するために成田国

際空港の敷地内に建設することが適当であると認められる事務所、店舗その他の政令で定めるものの建設及び管理

四 成田国際空港の周辺における航空機の騒音等により生ずる障害を防止し、又はその損失を補償するために行う次に掲げる事業

イ 緩衝地帯の整備のための土地等の取得、造成、管理及び譲渡

ロ 騒音防止工事等を行う者に対する助成

ハ 住居を移転する者等に対する損失の補償及びその所有する土地の買入れ

ニ イからハまでに掲げるもののほか、成田国際空港の周辺における航空機の騒音等により生ずる障害を防止し、又はその損失を補償するために行う事業であって政令で定めるもの

五 前号に掲げるもののほか、成田国際空港の周辺における生活環境の改善に資するために行う次に掲げる事業

イ 成田国際空港の周辺における航空機の騒音等により生ずる生活環境への影響を緩和するために必要であると認められる政令で定める事業であって成田国際空港の機能の発揮に資するものを行う者に対し、出えんする事業

ロ 成田国際空港の周辺における航空機の騒音等により生ずる障害の防止、成田国際空港の周辺の地域の整備その他の成田国際空港の周辺における生活環境の改善に資する事業を行う地方公共団体に対し、政令で定めるところにより、交付金を交付する事業

ハ イ及びロに掲げるもののほか、成田国際空港の周辺における生活環境の改善に資するために行う事業であって政令で定めるもの

六 前各号の事業に附帯する事業

七 前各号に掲げるもののほか、会社の目的を達成するために必要な事業

2 会社は、前項第七号の事業を行おうとするときは、あらかじめ国土交通大臣の認可を受けなければならない。

（生活環境の改善に対する配慮等）

第六条 会社は、成田国際空港の周辺の地域の住民等の理解と協力を得ることがその事業の円滑な実施を図る上で不可欠であることにかんがみ、その事業の実施に当たり常に成田国際空港の周辺における生活環境の改善に配慮するとともに、前条第一項第四号及び第五号に掲げる事業を適切かつ確実に営まなければならない。

2 国は、会社が前条第一項第四号及び第五号の事業を円滑に実施することができるよう配慮するものとする。

（以下省略）



3 NAAの歩みと共生・共栄の経緯 (1966年～2019年10月)

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
1966年 (昭和41年)	7月 4日・成田空港建設閣議決定 7日・「新東京国際空港公団法」施行 30日・新東京国際空港公団設立 12月12日・運輸省、公団に新空港の基本計画を指示 13日・公団、新空港の工事実施計画の認可申請 (1967年1月23日認可)	7月10日・三里塚芝山連合空港反対同盟結成
1967年 (昭和42年)	2月 3日・施設配置のマスタープラン策定のため、学識経験者等による総裁の諮問機関「空港計画委員会」を設置 8月 1日・「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」(騒防法)公布 10月 5日・空港計画委員会、「新東京国際空港計画基本方針」として中間報告を実施 10日・空港境界杭基準杭打ち	
1968年 (昭和43年)	4月20日・土地売渡同意書提出者約300世帯の家屋等立入り調査開始 8月 7日・空港計画委員会、新東京国際空港の計画について最終報告 9月27日・航空燃料輸送用パイプラインの敷設計画を14B(インチ)×2条に決定 12月26日・空港計画委員会の最終報告を受け、公団は新空港の工事実施計画変更の認可申請 (1969年1月25日認可)	4月 6日・条件派4団体と用地売り渡しに関わる覚書に調印
1969年 (昭和44年)	4月21日・資材輸送専用線(国鉄成田駅から分岐、大株から土屋地先に至る約2.9km)着工 9月19日・空港建設工事(工事用道路)に着手	12月16日・土地収用法に基づく事業認定告示
1970年 (昭和45年)	3月28日・「新東京国際空港周辺整備のための国の財政上の特別措置に関する法律」(財特法)公布 4月28日・資材輸送専用線の一部開通(全線開通は8月31日) 11月 4日・新東京国際空港第1期建設事業について特定公共事業の認定申請(12月28日認定告示)	
1971年 (昭和46年)	1月30日・資材輸送専用道路完成(1970年2月26日着工) 2月27日・騒防法に基づく学校等の騒音防止工事助成開始 5月31日・日本道路公団とパイプライン敷設および管理に係る協定を締結 8月19日・航空燃料パイプライン輸送のルートを公表	2月22日・第1次代執行開始(～3月6日) 9月16日・第2次代執行開始、警察官3人死亡(東峰十字路事件)(～20日)
1972年 (昭和47年)	3月31日・空港管理ビル完成(1970年10月8日着工) 6月26日・千葉市内パイプライン敷設工事着工(1973年9月17日中止) 8月 3日・運輸大臣に航空燃料を暫定的に千葉および鹿島から成田市土屋まで鉄道輸送すること(暫定輸送)について検討する旨報告 17日・関係県市町村等に暫定輸送措置について協力要請(～9月22日) 9月27日・土屋～空港間の航空燃料輸送はパイプラインとする(暫定パイプライン)が当面はタンクローリーとする旨の方針を決定	4月17日・第1回新東京国際空港騒音対策委員会開催 12月12日・第2回新東京国際空港騒音対策委員会開催
1973年 (昭和48年)	4月30日・A滑走路完成(1969年9月20日着工) 5月14日・誘導路完成(1970年8月4日着工)	2月14日・第3回新東京国際空港騒音対策委員会開催

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
1974年 (昭和49年)	3月27日・騒防法に基づく住宅の騒音防止工事の助成開始	3月28日・第4回新東京国際空港騒音対策委員会開催 10月19日・第5回新東京国際空港騒音対策委員会開催
1975年 (昭和50年)	6月30日・暫定パイプライン完成(1973年12月21日着工)	
1976年 (昭和51年)	1月 8日・運輸省、新東京国際空港の第1種区域、第2種区域および第3種区域を指定(告示) 10月 3日・エプロン完成(1970年7月8日着工) 10日・航空灯火完成(1971年2月24日着工) 12日・空港内給油施設完成(1970年12月25日着工)	2月 6日・第6回新東京国際空港騒音対策委員会開催
1977年 (昭和52年)	3月15日・第1ターミナル完成(1970年4月25日着工) 8月 7日・B747型機による第1次騒音テスト飛行実験 11月26日・空港、航空保安無線施設、航空灯火の完成検査合格 ・開港日を1978年3月30日とする旨運輸大臣に届け出(28日告示) 12月 8日・日本空港給油(株)設立	5月 6日・鉄塔撤去抗議集会(～10日)、反対派支援者死亡(東山事件)
1978年 (昭和53年)	3月28日・飛行場管制室などの機器などが破壊されたため、開港日の延期を決定 4月 4日・新たな開港日を1978年5月20日とする旨運輸大臣に届け出(7日告示) 7日・「特定空港周辺航空機騒音対策特別措置法」(騒特法)公布 5月20日・新東京国際空港(現成田国際空港)開港(乗り入れ航空会社29カ国34社) 21日・一番機(ロサンゼルス発の日本航空貨物便)が到着 25日・航空燃料暫定輸送開始 6月 1日・民家防音工事の対象を全室とする方針を決定	2月16日・第7回新東京国際空港騒音対策委員会開催 3月26日・過激派が管制塔を占拠、破壊(開港延期) 5月13日・新東京国際空港の安全確保に関する緊急措置法(成田新法)施行、公布 16日・成田新法発動
1979年 (昭和54年)	3月14日・(株)グリーンポート・エージェンシー設立 5月15日・本格パイプライン着工 7月10日・運輸省、新東京国際空港について第1種騒音区域を指定する告示(85から80WECPNLに拡大) 9月20日・千葉県に、騒特法に基づく航空機騒音対策基本方針の策定を要請	2月15日・第8回新東京国際空港騒音対策委員会開催
1980年 (昭和55年)	1月 8日・公団法の一部を改正する法律(出資条項の追加)が公布 9月 4日・A滑走路16(北側)進入用ILSカテゴリⅡ(制限付き)運用開始	2月27日・第9回新東京国際空港騒音対策委員会開催
1981年 (昭和56年)	2月16日・芝山鉄道(株)および日本空港給油(株)への出資認可申請(3月3日認可) 5月 1日・芝山鉄道(株)設立 7月30日・開港3周年記念「作文・絵画コンクール」	6月10日・第10回新東京国際空港騒音対策委員会開催
1982年 (昭和57年)	3月30日・運輸省、新東京国際空港について第1種騒音区域を指定する告示(80から75WECPNLに拡大) 11月25日・千葉県、「航空機騒音対策基本方針」を公表	5月12日・第11回新東京国際空港騒音対策委員会開催
1983年 (昭和58年)	8月 8日・本格パイプライン事業開始(B系)(航空燃料暫定輸送終了) 12日・開港5周年記念「絵画・写真コンクール」	3月 8日・反対同盟が熱田派と北原派に分裂 6月14日・第12回新東京国際空港騒音対策委員会開催
1984年 (昭和59年)	6月 1日・(財)航空科学振興財団設立 8月 1日・本格パイプライン運用開始(A系) 11月25日・第3貨物ビルオープン	6月 6日・第13回新東京国際空港騒音対策委員会開催



	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
1985年 (昭和60年)	6月 1日・エアポートメンテナンスサービス(株)設立 23日・第1ターミナル南ウイング・ソーティングエリアにおいて手荷物爆発事件発生 12月24日・第1ターミナルサテライト・ウェイティングラウンジオープン	8月 8日・第14回新東京国際空港騒音対策委員会開催
1986年 (昭和61年)	7月30日・NAA創立20周年(8月5日祝賀会) 11月26日・第2期工事に着手	7月10日・第15回新東京国際空港騒音対策委員会開催
1987年 (昭和62年)	7月21日・開港9周年記念「書道・写真コンクール」	9月 4日・反対同盟・北原派が分裂し、小川派を結成 10月23日・第16回新東京国際空港騒音対策委員会開催 11月27日・木の根団結砦を除去(成田新法による初めての除去処分)
1988年 (昭和63年)	5月20日・開港10周年 6月28日・(株)新東京国際空港振興協会設立 8月 2日・開港10周年記念「書道・写真コンクール」 10月28日・成田空港高速鉄道(株)設立 11月30日・第2ターミナル着工	9月21日・千葉県収用委員会会長がテロで重傷(その後、委員全員が辞任)
1989年 (平成元年)	2月28日・第1ターミナル南ウイング附属棟完成 3月 1日・空港情報通信(株)設立 ・旅客サービス施設使用料(PSFC)の料金徴収を機械化 4月 9日・B747-400型ジャンボ機(シンガポール航空)成田初就航 7月21日・開港11周年記念「書道・写真コンクール」 8月 1日・航空科学博物館開館 11月 1日・臨空開発整備(株)設立	5月26日・第17回新東京国際空港騒音対策委員会開催 8月29日・成田新法に基づき団結小屋1カ所に使用禁止命令 9月19日・成田新法に基づき団結小屋9カ所に使用禁止命令
1990年 (平成2年)	7月20日・P1駐車場の簡易立体駐車場オープン 26日・「第5回新東京国際空港周辺児童書道・絵画展」(以降、毎年開催)	1月30日・江藤運輸大臣、熱田派と初の対話 10月26日・第18回新東京国際空港騒音対策委員会開催 11月 1日・地域振興連絡協議会発足
1991年 (平成3年)	2月 7日・MD-11(デルタ航空)成田初就航 3月19日・JR、京成電鉄が第1ターミナル地下「成田空港駅」への乗り入れ開始 7月29日・千葉港頭石油ターミナル4・5号バス運用開始 8月 1日・2期区域エプロン一部運用開始	4月 9日・協議会が関係者に公開シンポジウム参加を呼びかけ ・熱田派がシンポジウム参加の条件提示 ・熱田派代表が辞任 5月28日・村岡運輸大臣が強制収用放棄を回答 6月17日・元熱田派がシンポジウム参加を正式決定 11月21日・第1回成田空港問題シンポジウム開催(以後15回実施)
1992年 (平成4年)	2月20日・情報通信センター、北オペレーションセンターオープン ・総合情報通信網運用開始 4月 1日・臨空センタービルオープン 6月 1日・(株)メディアポート成田設立 12月 2日・空港構内道路および第2ゲートオープン 3日・「空港第2ビル」駅オープン 6日・第2ターミナルオープン ・第1ターミナル北ウイング、第1および第2サテライト閉鎖	2月21日・第19回新東京国際空港騒音対策委員会開催 5月19日・第6回成田空港問題シンポジウムで隅谷調査団が「土地収用法が形式的に適用可能とするのは社会的正義の視点から問題がある」と所見を発表 7月 1日・最高裁、成田新法に合憲の判決 9月19日・運輸省、団結小屋9カ所に使用禁止命令適用(期限1年、以後毎年実施)
1993年 (平成5年)	2月 2日・新管制塔オープン(高さ87.3m) 3月31日・第2駐車場ビル南棟オープン 6月 1日・第2駐車場ビル南棟サービスビルオープン 12月 1日・南オペレーションセンターオープン	3月26日・第20回新東京国際空港騒音対策委員会開催 5月24日・第15回成田空港問題シンポジウム最終回 ①収用裁決申請を取り下げる ②国が過去の行為を反省しB・C両滑走路計画を白紙に戻す ③今後の成田空港問題の解決にあたって新しい協議の場を設ける、との所見で合意

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
1993年 (平成5年)		6月16日・千葉県収用委員会事務局に収用裁決申請の取下書を提出 7月26日・新しい協議の場について検討するため、シンポジウム運営委員会開催。新しい協議の場の名称を「成田空港問題円卓会議」に決定 9月20日・第1回成田空港問題円卓会議開催 10月19日・第2回成田空港問題円卓会議開催 12月 9日・第3回成田空港問題円卓会議開催
1994年 (平成6年)	2月 1日・第5貨物ビルオープン 3月 1日・第2駐車場ビル北棟サービスビルオープン 9月15日・A滑走路16(北側)進入用ILSカテゴリⅡ運用開始 11月30日・貨物駐車場ビル完成	1月25日・第4回成田空港問題円卓会議開催 2月18日・第21回新東京国際空港騒音対策委員会開催 22日・第5回成田空港問題円卓会議開催 3月29日・第6回成田空港問題円卓会議開催 4月 1日・航空機騒音等の環境問題、苦情等について地域住民の方々が気軽に相談等に訪れることができる窓口として、地域相談センターを開設(1997年6月1日に南地域相談センターに名称変更) 26日・第7回成田空港問題円卓会議開催 ・A滑走路の問題点について、自治体、民間代表と運輸省・NAA、千葉県との間で質疑応答 5月26日・第8回成田空港問題円卓会議開催 6月23日・第9回成田空港問題円卓会議開催 7月26日・第10回成田空港問題円卓会議開催 9月13日・第11回成田空港問題円卓会議開催 10月11日・第12回成田空港問題円卓会議開催(最終回) 隅谷調査団の最終所見を参加者全員が受け入れ、12回にわたった円卓会議が終了 11月 1日・NAA、円卓会議での合意事項を実現していくため組織改正を行い、企画室内に地域共生室と地域環境管理室を新たに設置 12月10日・円卓会議拡大運営委員会開催 地域振興連絡協議会に「成田空港地域共生委員会」を設置すること、また「『地球的課題の実験村』構想具体化検討委員会」の設置を決定
1995年 (平成7年)	1月 1日・貨物駐車場ビルオープン 20日・佐原テレビ中継局開局 2月28日・江戸崎テレビ中継局開局 3月16日・下総光テレビ中継局開局 22日・「成田空港周辺緑化基本計画」決定 4月 8日・第1ターミナル南北連絡通路完成に伴い第2サテライト暫定オープン 8月10日・芝山水辺の里(上流部)オープン 11月 1日・第6ゲート(整備地区前)オープン	1月10日・第1回成田空港地域共生委員会開催 24日・第1回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 ・シンポジウム、円卓会議不参加の小川派の1人(小川喜平氏)から、総理・運輸大臣あてに、これまでの空港づくりに反省を求める書簡が送付される。これに対する運輸大臣の返書を受けて、小川喜平氏および小川派代表小川嘉吉氏は、反対運動の終了を表明 3月 1日・空港情報センター、地域相談連絡室および地域共生委員会住民相談所開設 22日・第2回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 28日・第2回成田空港地域共生委員会開催 30日・第22回新東京国際空港騒音対策委員会開催



	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
1995年 (平成7年)		5月 9日・第3回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 25日・第3回成田空港地域共生委員会開催 6月 7日・第2ターミナル南側エプロン部分の一坪共有地(いわゆる「梅の木共有地」)の所有権をNAAがすべて取得(1995年12月よりエプロンとして運用開始) 7月 4日・第4回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 20日・第4回成田空港地域共生委員会開催 ・国と小川嘉吉氏との間で、同氏が提起してきた訴訟の終結方法等について合意 8月 2日・2期工事差し止め訴訟原告小川敏江氏、小川耕平氏、小川国明氏も訴え取り下げ 9日・小川嘉吉氏および小川喜平氏が行政事件の訴え取り下げ 22日・成田市芦田地区8戸と集団移転補償契約締結 29日・第5回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 10月 5日・第6回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 12日・第5回成田空港地域共生委員会開催 11月 2日・第7回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 12月 7日・第8回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 21日・第6回成田空港地域共生委員会開催
1996年 (平成8年)	2月23日・成田空港ホームページ開設 3月28日・ILSカテゴリーⅢa運用開始およびストップ・バーシステム運用開始 4月 1日・輸入貨物仕分基準解消 ・第4貨物ビルおよび天浪トラック待機場、車両呼び出しシステム運用開始 (これを機に成田・原木仕分け基準が解消) ・四街道石油ターミナルオープン 7月 1日・NAA本社が成田空港内に移転(空港周辺の方々8284世帯へ移転の挨拶を行う(～9日)) 9月11日・NAA創立30周年および本社移転記念パーティーを実施、新しい愛称・シンボルマークを披露 10月 1日・芝山水辺の里(下流部)オープン	1月19日・国と熱田一氏との間で争われていた、「横堀団結の砦」除去の際の作物被害の損害賠償請求事件について和解成立 24日・第9回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 2月15日・第7回成田空港地域共生委員会開催 21日・第10回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 3月28日・第11回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 29日・第23回新東京国際空港騒音対策委員会開催 4月25日・第8回成田空港地域共生委員会開催 5月16日・第12回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 6月 6日・第9回成田空港地域共生委員会開催 7月18日・小川嘉吉氏と補償契約を締結 ・第13回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 19日・第10回成田空港地域共生委員会開催 8月20日・第11回成田空港地域共生委員会開催 9月26日・第14回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 10月31日・第12回成田空港地域共生委員会開催 ・運輸省より「今後の成田空港と地域との共生に関する基本的考え方」が提示される 11月12日・小川喜平氏と補償契約を締結

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
1996年 (平成8年)		11月15日・第6回地域環境委員会開催 27日・梅澤勘一氏と補償契約を締結 12月11日・運輸省が、「今後の成田空港と地域との共生、空港整備、地域整備に関する基本的考え方」を発表 12日・第15回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 19日・第13回成田空港地域共生委員会開催
1997年 (平成9年)	1月20日・(株)成田エアポートテクノ設立 4月21日・NAAビル1階にNAA情報コーナーオープン 7月25日・韓国空港公社(KAC)と姉妹空港締結 11月 7日・航空科学博物館にNAAコーナー設置	1月23日・第16回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 2月14日・第14回成田空港地域共生委員会開催 3月17日・第17回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 28日・第24回新東京国際空港騒音対策委員会開催 4月17日・第15回成田空港地域共生委員会開催 5月15日・第18回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 20日・しばやまロジスティクスと補償契約を締結 23日・梅澤勝義氏と補償契約を締結 6月 1日・地域と共生する空港づくり推進体制として、総裁を本部長とする「地域共生推進本部」と「空港づくり推進本部」を設置、併せて「北地域相談センター」を開設 19日・第16回成田空港地域共生委員会開催 25日・(財)成田空港周辺地域共生財団の設立発起人会開催 7月10日・第19回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 28日・(財)成田空港周辺地域共生財団の設立 8月19日・小川一彰氏、小川直克氏および相原亮司氏と移転を含めた生活設計について協議することを合意 28日・第17回成田空港地域共生委員会開催 9月16日・熱田一氏・下山久信氏と横堀墓地訴訟の和解成立 10月 1日・(財)成田空港周辺地域共生財団事業開始 16日・成田市天神峰の加藤俊宣氏と空港予定地内所有地の補償契約を締結 23日・第18回成田空港地域共生委員会開催 11月 7日・成田市天神峰の加藤清氏と空港予定地内所有地の補償契約を締結 12月25日・第19回成田空港地域共生委員会開催
1998年 (平成10年)	1月22日・芝山鉄道線建設工事起工 2月 1日・第1ターミナル第1サテライトオープン 3月20日・ターミナル連絡バスの新型車輛(スロープ付きノンステップバス)を導入 4月 1日・「環境情報公開システム」の運用開始、空港情報センター・北地域相談センター・NAA情報コーナーに設置 ・「三里塚さくらの丘」オープン ・APU使用制限の実施 ・「旅客案内サービスシステム」の運用開始 25日・発着枠を1日360回から370回へと改定	2月19日・第20回成田空港地域共生委員会開催 3月10日・第20回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 30日・第25回新東京国際空港騒音対策委員会開催 4月 7日・第21回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 11日・成田市幡谷地区住民28人を対象に航空機騒音実体験調査を実施(以降、随時実施) 16日・第21回成田空港地域共生委員会開催



	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
1998年 (平成10年)	5月20日・開港20周年 6月16日・エンジン試運転時の騒音を軽減するハンガータイプの新消音施設を着工 8月20日・成田空港においてVAT (付加価値税) 払い戻しサービス開始 11月10日・ニューヨーク・ニュージャージー港湾公社 (PANYNJ) と姉妹空港締結 18日・成田空港～羽田空港間直通列車運転開始	5月 1日・第22回「地球的課題の実験村」構想具体化検討委員会開催 ・最終報告書「若い世代へー農の世界から地球の未来を考える」を発表、解散 18日・隅谷調査団が「成田空港問題は社会的に解決され、今後関係者が進んでいく道筋が理念的にも示されるところとなった」との所見を発表 ・小川直克氏、相原亮司氏と移転補償契約を締結 19日・運輸大臣が「成田空港問題の話し合い解決について」を閣議報告 27日・「エコ・エアポート基本構想―実験村の理念を踏まえた成田空港の新しい姿―」を発表 6月 1日・空港と地域との共生の推進に関する諸施策をより積極的に実施するため、地域共生部を設置 7日・成田市木の根の小川一彰氏と空港予定地内所有地について、移転補償契約を締結 22日・第22回成田空港地域共生委員会開催 7月15日・運輸省・NAA、「地域と共生する空港づくり大綱」を発表 8月20日・関係市町村への平行滑走路運用開始後の標準的な飛行コースの説明会 (千葉県34市町村) 28日・関係市町村への平行滑走路運用開始後の標準的な飛行コースの説明会 (茨城県22市町村) 9月21日・第23回成田空港地域共生委員会開催 10月 5日・東峰地区住民・関係者一同 (8人) による声明が発表される 11月 2日・茨城地域相談センター (河内町) の設置 16日・第24回成田空港地域共生委員会開催 12月16日・「地域と共生する空港づくり大綱」最終とりまとめ 22日・芝山町大里住母家地区の住民と集団移転に係る補償契約および代替地譲渡契約の締結
1999年 (平成11年)	1月 1日・PSFCを航空券発券時の同時徴収 (オンチケット化) に変更 ・第2ターミナル到着ロビーに道路交通情報表示盤を新設、リアルタイムの情報を提供 3月10日・第1ターミナル北ウイング・中央ビル新館オープン記念式典 16日・第1ターミナル北ウイング・中央ビル新館オープン (南ウイング閉鎖) 4月 1日・成田フライトインフォメーションシステム自動化 ・第1ターミナル中央ビル新館バスゲート、第4サテライト間シャトルバス運行開始 2日・空港周辺緑化整備の一環である朝倉「やすらぎの杜」オープン	1月20日・運輸大臣、運輸政務次官・NAA総裁に対し、4月までに話し合い解決の目的をつけるよう指示 25日・第25回成田空港地域共生委員会開催 27日・運輸省審議官、NAA副総裁による東峰地区訪問 29日・平行滑走路南側の航空保安施設用地を萩原敏彦氏より取得 3月25日・第26回成田空港地域共生委員会開催 30日・第26回新東京国際空港騒音対策委員会開催 4月14日・成田市天神峰の土地について、持分所有者である越川正治氏と土地売買契約を締結 16日・空港周辺商工業経済団体連絡協議会がNAA総裁に平行滑走路早期完成の要望書を提出

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
1999年 (平成11年)	4月27日・新消音施設(ノイズリダクションハンガー)竣工 5月10日・平行滑走路2000年度完成目標断念を発表 24日・ACIコンピュータポート'99開催(～27日) 6月 3日・成田空港サービス㈱設立 14日・成田市長田地区、芝山町香山新田地区における山林の里山的整備施設オープン 16日・南ウイング内ムービングサイドウォーク運用開始 9月 1日・第1ターミナル新旧中央ビル間連絡通路オープン 3日・暫定平行滑走路等の整備に関する工事实施計画の変更認可申請 10月 7日・第1ターミナル第1サテライト11番ゲートオープン 12日・太陽光発電システム運用開始 18日・成田空港の暫定平行滑走路の整備に関する工事实施計画の変更認可申請に伴う公聴会開催(成田国際文化会館) 12月 3日・暫定平行滑走路工事の安全祈願祭を行い、着工 31日・Y2K対策実施(～1月1日)	4月19日・成田空港早期完成促進協議会が10万人署名活動(最終的に26万人の署名を運輸大臣に提出) 5月17日・第27回成田空港地域共生委員会開催 21日・運輸大臣からNAA総裁に成田空港の平行滑走路の整備に関する新たな方針が示される 7月26日・第28回成田空港地域共生委員会開催 8月 6日・栗源町住民で組織する「栗源5000人会」、過激派排除の申し入れをNAA等に提出 24日・芝山町大字香山新田字猪穴台87-2の一坪共有地の所有権すべてを取得 10月14日・芝山町菱田地区の住民(11戸)と集団移転に係る補償契約および代替地譲渡契約の締結 11月 8日・第29回成田空港地域共生委員会開催 12月 1日・暫定平行滑走路等に係る一坪共有地等の所有者、堀越昭平氏との間で、移転を含めた生活設計などについて協議をしていく旨の基本合意 ・暫定平行滑走路の整備に関する工事实施計画の変更申請が認可される 20日・暫定平行滑走路南側の航空保安施設用地について萩原勇一氏と土地売買契約を締結するとともに、騒音区域からの移転補償契約を締結
2000年 (平成12年)	3月31日・成田市さくらの山完成 4月 1日・コージェネレーションシステム導入・運用開始 4日・航空科学博物館エコ・エアポートコーナー開設 10日・飛行コース公開システム運用開始 17日・暫定平行滑走路東峰地区の現場作業開始 19日・暫定平行滑走路北側地区の作業開始 5月29日・ACI&IATAグリーンポート2000開催(～6月1日) 6月20日・芝山鉄道工事計画の変更申請が認可される 7月 7日・第1ターミナル第2サテライトオープン 9月30日・成田空港免税ブランドショップオープン 10月 1日・パネル型分煙システムの導入 ・貨物管理ビルオープン 2日・成田空港ロジスティックス㈱設立	1月31日・第30回成田空港地域共生委員会開催 3月30日・第27回新東京国際空港騒音対策委員会開催 4月10日・第31回成田空港地域共生委員会開催 6月 5日・第1回今後の共生委員会のあり方に関する検討委員会開催 7月17日・第32回成田空港地域共生委員会開催 25日・堀越昭平氏と空港予定地内所有地について、土地売買契約を締結 ・成田市天神峰字奥之台29-2の一坪共有地の所得権すべてを取得 8月30日・第2回今後の共生委員会のあり方に関する検討委員会開催 10月16日・第33回成田空港地域共生委員会開催 11月13日・第3回今後の共生委員会のあり方に関する検討委員会開催 12月18日・第34回成田空港地域共生委員会開催
2001年 (平成13年)	2月 6日・第1回成田空港国内線充実対策検討会開催 28日・空港周辺11市町村の首長と23市町村議会、成田空港南側ゲートの早期開設を求めた要望書をNAA総裁に提出 3月22日・成田空港エコ・ステーションオープン 27日・第2回成田空港国内線充実対策検討会開催 4月 1日・整備地区暫定貨物上屋オープン 2日・東峰地区切廻し道路運用開始 19日・新A-8高速脱出誘導路運用開始 28日・「成田空港乗合タクシー」(ジェットパートナー) 運行開始	2月 5日・小泉英政氏(成田市東峰在住)との和解が成立 20日・第35回成田空港地域共生委員会開催 3月23日・地域と空港の共生に係る協定書締結 29日・第28回新東京国際空港騒音対策委員会開催 5月21日・第36回成田空港地域共生委員会開催 7月23日・第37回成田空港地域共生委員会開催 11月19日・第38回成田空港地域共生委員会開催



	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2001年 (平成13年)	5月 8日・第3回成田空港国内線充実対策検討会開催 11日・「航空機騒音障害防止特別地区」都市計画決定 22日・航空会社のターミナル再配置案を発表(10月9日最終案発表) ・第1回成田空港アクセス充実検討会開催 6月 2日・第1回成田空港国内線需要創出検討会開催 25日・第2回成田空港アクセス充実検討会開催 7月 5日・第4回成田空港国内線充実対策検討会開催(最終回) 8月 2日・第2回成田空港国内線需要創出検討会開催 7日・第1ターミナル中央ビル本館の一部オープン 9月 3日・NAA総裁「暫定平行滑走路の工事完成と供用前倒し」を国土交通大臣に報告 11日・米国同時多発テロにより引き返し便、ダイバート便、欠航便相次ぐ(～14日) 26日・免税ブランドショップが第1ターミナルにもオープン 10月 1日・RFIDタグを利用した航空手荷物管理システム実証実験実施(～7日) 8日・アフガニスタンへの空爆等に伴う緊急テロ対策本部設置 15日・暫定平行滑走路関連施設の飛行検査実施(～12月下旬) 31日・暫定平行滑走路の完成に係る行事の実施 11月29日・暫定平行滑走路南側進入灯火の点灯検査を実施 30日・第3回成田空港国内線需要創出検討会開催 12月18日・特殊法人等整理合理化計画が発表 26日・第3回成田空港アクセス充実検討会開催 ・第4回成田空港国内線需要創出検討会開催	
2002年 (平成14年)	1月 7日・「魅力ある成田空港推進協議会」設立総会開催 17日・暫定平行滑走路の完成検査合格および運用開始日確定(竣工は前年11月22日) ・暫定平行滑走路の運用開始期日の届け出 23日・成田新高速鉄道(仮称)土屋駅設置にかかる要望(陳情) 2月 8日・成田新高速鉄道建設主体準備委員会開催 18日・爆発物探知機器(EGIS-2)を配備 27日・成田空港国内線の運航計画確定 3月18日・防音工事済み住宅における経年変化の実態調査実施(～6月末) ・第2回成田新高速鉄道建設主体設立準備委員会開催 25日・暫定平行滑走路南側既存部分の誤着陸防止対策工事の実施(～29日) ①グリーンネット設置 ②マーキング(緑色の塗装) ・成田新高速鉄道建設主体設立発起人会開催 29日・「NAAランデブープラザ」を第2ターミナルに設置	2月 4日・第39回成田空港地域共生委員会開催 3月26日・三ノ宮武二氏および廣氏と航空保安施設用地内所有地1.1haの土地売買契約を締結 27日・第29回新東京国際空港騒音対策委員会開催 4月16日・成田空港圏自治体連絡協議会が国・公団および千葉県に対し「地域と空港の共生」実現に向けての要望書を提出 5月20日・第40回成田空港地域共生委員会開催 7月29日・第41回成田空港地域共生委員会開催 11月18日・第42回成田空港地域共生委員会開催 25日・横堀要塞の取り壊し撤去作業を底地地権者が実施(～27日)

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2002年 (平成14年)	4月 1日・インターネットコーナーの設置(無人キオスク端末およびブース型端末などの設置) ・空港情報センターおよび航空科学博物館に「音の体験ルーム」設置 2日・暫定平行滑走路運用前の実機飛行実施 8日・航空保安施設運用開始前総合点検を実施(～16日の9日間) 17日・暫定平行滑走路供用開始記念式典などを実施 18日・暫定平行滑走路供用式(一番機)の実施(タイ国際航空 バンコク/成田) 25日・成田高速鉄道アクセス(株)設立 5月13日・回転翼航空機(ヘリコプター)の受け入れ条件を一部緩和 16日・「成田空港CS協議会」発足 27日・ターミナル間連絡バスに天然ガス車両導入 ・第2ターミナル出発ロビー北側増築部(Wカウンター・Yカウンター)オープン 31日・成田新高速鉄道の鉄道事業許可申請を実施 京成電鉄(株):京成高砂駅～成田空港駅間 成田高速鉄道アクセス(株):印旛日本医大駅～成田空港高速鉄道線接続点間 6月20日・第6貨物ビルオープン 7月 5日・成田新高速鉄道に係る鉄道事業許可(国土交通省から成田高速鉄道アクセス(株)および京成電鉄(株)へ鉄道事業許可状が交付される) 8月28日・(株)NAAコミュニケーションズおよび(株)成田空港ビジネス設立 9月25日・第2ターミナルスイングゲート(国際・国内線用)オープン 10月 7日・第12回ACI世界総会および太平洋地域部会総会開催(～11日) 16日・南ゲート(第6ゲート)が入場ゲートとして運用開始 27日・芝山鉄道線開業 芝山千代田駅～東成田駅間2.2km 12月 1日・暫定平行滑走路南端誘導路上にてJASとDLH機の接触事案発生 16日・第1ターミナル第3サテライトオープン	
2003年 (平成15年)	1月20日・新東京国際空港の改称「成田国際空港」および新会社「成田国際空港株式会社」の名称について国土交通大臣に要望書を提出 27日・AJX機が暫定平行滑走路南端をオーバーランする事案発生 2月13日・「航空機の地上走行調査結果」発表 28日・新東京国際空港公団民営化に関する覚書締結(四者協議会) 3月 3日・場外放水路に寄付募集した170本の「さくらの苗木」を植樹(～20日) 11日・「成田国際空港株式会社法案」が閣議決定 12日・「三里塚さくらの丘」新展望台オープン 4月 2日・「南三里塚遊歩道」オープン	2月 5日・第43回成田空港地域共生委員会開催 3月26日・第30回新東京国際空港騒音対策委員会開催 5月23日・第44回成田空港地域共生委員会開催 7月28日・第45回成田空港地域共生委員会開催 11月17日・第46回成田空港地域共生委員会開催 12月 5日・東峰神社に係る所有権移転登記手続等請求事件について、東峰神社底地が原告らによって構成されている東峰部落の総有であることを認める内容の和解が成立



	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2003年 (平成15年)	4月14日・天浪地区貨物上屋オープン 5月20日・開港25周年 6月13日・SARSの影響に伴う空港内事業者に対する支援措置を実施(6月1日～8月31日) 7月 1日・ネイテック防災(株)設立 11日・第156回通常国会にて「成田国際空港株式会社法」成立(7月18日公布) ・「次世代空港システム技術研究組合」設立総会開催 31日・南部第1貨物ビル・南部第2貨物ビルオープン 10月30日・中期総合経営計画草案(2004～06年度)発表 11月27日・NAAロゴ決定 28日・成田国際空港設立委員会開催 12月 1日・CS推進委員会発足 11日・CSキャンペーン実施	12月24日・天神峰地区における空港用地(計7筆(うち1筆は一坪共有地))および岩山地区における航空保安施設用地(1筆)の所有権を取得
2004年 (平成16年)	1月19日・空港保安委員会・テロ対策合同訓練の実施 2月 1日・新会社に向けて組織再編成 13日・第2回成田国際空港設立委員会開催 23日・初の「CS Award」年間グランプリ授賞式 3月23日・NAA創立総会と第1回取締役・監査役会 4月 1日・成田国際空港株式会社発足(記念祝賀会「成田」、同会「東京」2日) ・空港名を「新東京国際空港」から「成田国際空港」へ名称変更 ・出発一番機式典アジアナ航空107便 ・「NAA保育ルームたんぽぽ」オープン ・第2給油センターオープン 5月24日・2004年度経営計画発表 26日・(株)NAAリテイリング設立 6月 1日・(株)NAAエレテック設立 30日・『CSフレンズ』創刊 7月 1日・南部貨物地区第2期施設(南部第3・4貨物ビル)オープン 20日・初の「クリーン・アップ運動」を実施 10月19日・第1ターミナル第1～第2サテライト間の連絡通路オープン 11月 1日・(株)NAAファシリティーズ設立 12月23日・第1ターミナル第4サテライト44番ゲートオープン	2月 6日・第47回成田空港地域共生委員会開催 3月25日・第31回新東京国際空港騒音対策委員会開催 5月24日・第48回成田空港地域共生委員会開催 7月26日・第49回成田空港地域共生委員会開催 11月 1日・国土交通大臣が成田空港を視察。NAA社長に対し用地交渉の進捗状況を年明けに報告するよう指示 15日・第50回成田空港地域共生委員会開催
2005年 (平成17年)	2月 3日・フラポートAGと姉妹空港締結 3月 9日・第1回社債500億円発行 17日・第1ターミナル第4サテライト45番ゲートオープン 29日・成田空港イメージキャラクター誕生(同6月30日、愛称「クウタン」に決定) 4月 1日・南部第5・6貨物ビルオープン ・2005年度経営計画発表 8日・QRコード活用によるお客様への情報提供開始 11日・NAAファイアー&セキュリティー(株)設立 19日・「成田空港安全推進協議会」発足 25日・「エコ・エアポート基本計画」策定 5月26日・民営化初年度の連結決算(2005年3月期)で黒字を計上	1月11日・国土交通大臣へ用地交渉の進捗状況を報告。大臣からの指示①年度中に用地交渉進捗状況を再度報告②「北伸案」の諸準備に着手し、再度報告の際に説明 2月15日・第51回成田空港地域共生委員会開催 3月23日・第32回成田国際空港騒音対策委員会開催 27日・暫定平行滑走路の深夜早朝時間帯における運用制限を開始 4月14日・東峰地区住民(5人)との第1回話し合い開催 15日・国土交通大臣へ報告。①用地交渉の状況および交渉継続のお願い ②「北伸案」の社内検討状況 ・大臣からの指示「今後の方針を近く指示」

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2005年 (平成17年)	7月 1日・NAA&ANAデューティフリー(株)および(株)NAA&JAL-DFS設立 ・第2ターミナル乗り継ぎ検査場改修(第1ターミナルからの乗り継ぎがスムーズに) ・シャトルシステムの運転方法の変更(本館とサテライトの往来が可能に) 8月 4日・平行滑走路2500m化、「北延伸」で実現決まる ・第1ターミナル第4サテライトリニューアル(43番ゲートオープン) 9月 5日・成田空港初の地震防災訓練を実施 10月 1日・航空機の騒音レベルに応じた新体系の空港使用料金を導入 ・平行滑走路の整備概要発表 ・成田空港給油施設(株)設立 11月 1日・「ハガキのお預りサービス」開始 12月 5日・東京地検特捜部がNAA社員を逮捕 15日・東京地検特捜部が同社員を競売入札妨害の罪で起訴	5月 9日・東峰地区住民(4人)との第2回話し合い開催。話し合いに参加した東峰地区住民がNAA社長からの東峰地区住民に対する謝罪を受け入れ。また、同住民は空港問題の根本的な解決に向けた話し合いの開始を東峰地区に提起することを了解 16日・第52回成田空港地域共生委員会開催 6月 7日・東峰地区住民(4人)との第3回話し合い開催 16日・下山久信氏と横堀墓地(持分1/2)の土地売買契約を締結 30日・東峰地区住民(4人)との第4回話し合い開催。7月15日、NAA社長が国土交通大臣に北伸案の採用を申し入れたことにより、第5回以降の話し合いは未定となった 7月25日・第53回成田空港地域共生委員会開催 8月 4日・国土交通大臣がNAAに対し、北伸による2500m平行滑走路整備を指示 11月14日・第54回成田空港地域共生委員会開催
2006年 (平成18年)	2月 4日・成田新高速鉄道着工式 3月23日・2006～2010年度NAAグループ中期経営計画「Newステージ2010」発表 ・「成田空港に関する四者協議会」において平行滑走路の北伸整備に係る確認書を締結 4月 3日・NAA成田空港セコム(株)設立 13日・A滑走路16RILSカテゴリーⅢb運用開始 6月 2日・第1ターミナルグランドオープン ・Narita Airport Studio「SKY GATE」オープン 7月10日・平行滑走路の整備に関する飛行場変更申請 8月21日・成田空港の平行滑走路北伸整備に関する工事实施計画の変更許可申請に伴う公聴会開催(成田国際文化会館) 31日・第2ターミナル76・77番ゲートオープン 9月 7日・AED(自動体外式除細動器)による救急救命訓練の実施 11日・平行滑走路北伸整備に関する飛行場変更申請が許可される 15日・平行滑走路2500m整備事業着工 ・米国航空会社および米国線での免税品の機側渡しの実施 10月 1日・グループ会社の合併(成田空港給油施設(株)・(株)ナフ・エンジニアリング) 12月20日・第1ターミナルグランドオープンさくら記念植樹式 21日・平行滑走路2500m化に伴う航空保安無線施設の変更許可申請	2月 3日・第55回成田空港地域共生委員会開催 3月22日・第33回成田国際空港騒音対策委員会開催 31日・熱田一氏と横堀墓地(持分1/2)、一坪共有地および航空保安施設用地の土地売買契約と移転補償契約を締結 5月22日・第56回成田空港地域共生委員会開催 7月24日・第57回成田空港地域共生委員会開催 11月13日・第58回成田空港地域共生委員会開催 12月26日・北伸に伴うB誘導路西側ホールディングベイ用地の取得完了
2007年 (平成19年)	3月 1日・国際線機内への液体物持ち込み制限の実施 6日・北伸に伴う航空保安無線施設の変更申請が許可	1月23日・東峰の森の樹木伐採禁止を求めた仮処分申請について申し立て却下 2月 7日・第59回成田空港地域共生委員会開催



	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2007年 (平成19年)	3月30日・北伸整備に係る住宅防音工事助成の実施 4月 1日・NAA本社が北ビルに移転 ・成田国際空港モニターの運用開始 9日・第2ターミナル免税ブランドモール「ナリタ5番街」オープン 6月29日・「成田国際空港アジア・ゲートウェイ特区」の提案 10月 9日・「成田国際空港アジア・ゲートウェイ特区」政府方針の決定 12月18日・第2ターミナル出発ロビーチェックインカウンター (D,E,H,I,J,K,L,M) リニューアルオープン 26日・第1ターミナル「ナリタ北斎プラザ」 「Narita North Street」オープン 28日・騒特法「航空機騒音障害防止地区」および「航空機騒音障害防止特別地区」変更	2月26日・北伸に伴う航空保安無線施設 (進入灯) 用地の取得完了 3月29日・第34回成田国際空港騒音対策委員会開催 12月12日・北伸に伴う新北総VOR/DME用地の取得完了 14日・第60回成田空港地域共生委員会開催
2008年 (平成20年)	1月30日・第1回成田国際空港都市づくり推進会議開催 2月25日・第2回成田国際空港都市づくり推進会議開催 3月25日・第3回成田国際空港都市づくり推進会議開催 4月 1日・緊急地震速報の非常放送開始 2日・第2ターミナル出発ロビーチェックインカウンター (B,C,D,O,P,Q) リニューアルオープン 16日・第1ターミナル第5サテライト「内際乗り継ぎ施設」オープン 22日・第2ターミナル・インラインスクリーニングシステム運用開始 ・第2ターミナルサテライト到着コンコースを「和的」に整備 ・第1ターミナル北ウイングチェックインカウンターがリニューアルオープン 25日・成田空港内構内道路の案内標識設置完了 ・プルコヴォ空港会社と姉妹空港締結 5月20日・開港30周年 ・シンガポール航空A380型機日本初就航 30日・第4回成田国際空港都市づくり推進会議開催 6月18日・第2ターミナル「内際乗り継ぎ施設」オープン 25日・平行滑走路北伸整備事業に伴う国道51号の切替工事が完了し、運用開始 7月 3日・第2ターミナル出発ロビーチェックインカウンター (A,G,R,S) リニューアルオープン 8日・第1ターミナル北ウイング・インラインスクリーニングシステム運用開始 31日・第5回成田国際空港都市づくり推進会議開催 8月21日・開港30周年記念「青少年海外派遣事業」の実施 (主催:NPF) (～27日) 10月 1日・第5駐車場オープン 8日・第2ターミナルサテライト到着コンコースの和的整備がグッドデザイン賞を受賞 27日・第7貨物ビルオープン 11月 5日・第6回成田国際空港都市づくり推進会議開催	1月17日・一坪共有地に係る分割請求訴訟6件について、最高裁において勝訴判決確定 3月18日・第61回成田空港地域共生委員会開催 24日・第35回成田国際空港騒音対策委員会開催 6月 6日・第62回成田空港地域共生委員会開催 9月19日・第63回成田空港地域共生委員会開催 12月22日・第64回成田空港地域共生委員会開催
2009年 (平成21年)	1月23日・第7回成田国際空港都市づくり推進会議開催 27日・B滑走路北伸に伴う進入灯の橋梁架設工事を実施	1月 9日・第65回成田空港地域共生委員会開催 成田空港地域共生委員会は第7期終了を機に14年に及ぶ活動にピリオドを打ち、発展的に解消

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2009年 (平成21年)	3月10日・成田空港公式WEBサイトにて空港内駐車場混雑状況の情報提供開始 28日・暫定平行滑走路の深夜早朝時間帯の運用制限の終了 4月15日・シンガポールの主要ポータルサイト「Asia One」が実施した「People's Choice Award」で成田空港がアジア空港部門でトップ3に選ばれる 16日・シニア向け「成田空港パスポート」(N.PASS)を発行 5月11日・インドネシアでのお客様満足度調査で成田空港が最高賞の“Diamond賞”を受賞 20日・2500mB滑走路の供用前倒しを国土交通大臣(当日は副大臣)へ報告 6月 8日・仁川国際空港公社(IIAC)と姉妹空港締結 29日・国土交通省よりB滑走路2500m化に係る諸施設の完成検査合格通知を受け、供用開始日届出書を提出 7月29日・第8回成田国際空港都市づくり推進会議開催 30日・東側誘導路運用開始 9月18日・第2ターミナルサテライト3階コンコースがリニューアルオープン 10月 1日・国内空港で初めて制限エリア内にATMを設置 20日・2500mB滑走路供用記念式典開催 22日・2500mB滑走路運用開始 11月14日・成田新高速鉄道工事の進捗に伴い、空港第2ビル駅の上り線ホームを新設 16日・出国旅客および国際線乗り継ぎ旅客を対象に、旅客保安サービス料(PSSC)を導入 ・国際線乗り継ぎ旅客を対象に、旅客サービス施設使用料(PSFC)を導入	1月23日・「成田空港に関する四者協議会」において成田空港のさらなる容量拡大の検討に着手することに合意 3月13日・北仲に伴う国道51号線付替等関連用地の取得完了 24日・第36回成田国際空港騒音対策委員会開催 4月 1日・地域振興連絡協議会に「成田空港地域共生・共栄会議」を設置することを決定 24日・常設展示施設の建設に向けて、第1回NAA歴史伝承委員会開催 6月16日・第1回成田空港地域共生・共栄会議開催 10月16日・第2回NAA歴史伝承委員会開催 11月18日・岩山地区における航空保安施設用地(1筆)を取得し、すべての航空保安施設用地の取得完了 12月25日・第2回成田空港地域共生・共栄会議開催
2010年 (平成22年)	3月24日・2010～2012年度NAAグループ中期経営計画「Naritaエボリューションプラン:成田国際空港“進化・発展”」計画を発表 26日・第1ターミナル第3サテライト4階到着コンコースに和的装飾を設置 28日・空港処理能力が20万回から22万回へ拡大 29日・アブダビ空港会社(ADAC)と姉妹空港締結 30日・北京首都国際空港会社(BCIA)と姉妹空港締結 4月 2日・B滑走路西側誘導路および横堀地区誘導路の整備に関する空港の変更許可を国交省へ申請 19日・「アイスランド火山噴火お客様対応室」を設置(～27日) 27日・第1ターミナル駅ゲート検査ブースをリニューアル 28日・第2ターミナル駅ゲート検査ブースをリニューアル 6月 1日・ヒルトン成田とのコラボレーションにより第1ターミナル出発ロビーに成田空港「エアポートウエディング」オープン ・ターミナル内飲食店が全面禁煙に 30日・B滑走路西側誘導路・横堀地区誘導路の整備に関する空港施設の変更について国交省より許可される	3月24日・第37回成田国際空港騒音対策委員会開催 5月14日・第3回成田空港地域共生・共栄会議開催 6月30日・B滑走路西側誘導路整備に伴う天神峰事業用地の取得完了 10月13日・「成田空港に関する四者協議会」において「容量拡大(30万回)に係る確認書」を締結 18日・第4回成田空港地域共生・共栄会議開催 29日・第3回NAA歴史伝承委員会開催



	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2010年 (平成22年)	7月5日・ボディースキャナー実証実験を実施(～9月10日) 8日・タイ空港会社(AOT)と姉妹空港締結 17日・成田新高速鉄道(成田スカイアクセス)開業 12月16日・新たなビジネスジェット駐機場を5スポット増設し、連続停留可能期間を延長	
2011年 (平成23年)	1月21日・(株)ローソンと「災害時における物資の調達に関する協定」を締結 3月11日・東日本大震災発生(発生直後から、ほぼすべての施設が正常に機能) 19日・東日本大震災発生に伴い、「成田国際空港公式WEBサイト」にて空港内で計測した放射線の測定値を情報公開開始 4月15日・無料公衆無線LANサービスの提供エリアを、出発・到着ロビーなどへも拡大 6月23日・成田空港問題の歴史を後世に伝える常設展示館「成田空港 空と大地の歴史館」が開館 7月 1日・第2ターミナル本館4階のショッピング&ダイニングフロアをリニューアル 25日・仙台空港への定期便が再開。成田空港ビジネスより手荷物カート100台を仙台空港へ寄贈 9月 1日・震災後初の大規模な防災訓練を実施 10月20日・滑走路の同時離着陸方式を運用開始 26日・世界初のB787型機有償フライトとなる全日本空輸のチャーター(香港線)が運航 30日・空港処理能力が22万回から23.5万回へ拡大 11月11日・第2ターミナル本館3階出発ロビーに「Narita Airport Stage "SKYRIUM"」を設置	1月23日・第5回成田空港地域共生・共栄会議開催 4月22日・第4回NAA歴史伝承委員会開催 6月 3日・第6回成田空港地域共生・共栄会議開催 8月 6日・東京高裁判決に基づく強制執行により、天神峰現地闘争本部撤去 11月22日・第7回成田空港地域共生・共栄会議開催
2012年 (平成24年)	2月 6日・航空旅客が8億人突破 3月21日・成田国際空港公式スマートフォンサイトを開設 24日・成田空港地域共生・共栄会議主催、初の「わたしの一番の風景フォトコンテスト～ふるさとと成田空港～」の表彰式を開催 25日・空港処理能力が23.5万回から25万回へ拡大 29日・第1・第2ターミナル店舗エリアでデジタルサイネージ導入 31日・ビジネスジェット専用ターミナル「Business Aviation Terminal -Premier Gate-」がオープン 4月 1日・ターミナル内の全ご案内カウンターにて、テレビ電話によるご案内サービスを運用開始 ・(株)NAAリテイリング、NAA&ANAデューティーフリー(株)および(株)NAA&JAL-DFSの3社が合併(株)NAAリテイリングを存続会社とする吸収合併) 5日・第3ターミナルの整備を発表 5月23日・チャンギ空港グループ(CAG)と姉妹空港締結	1月25日・天神峰現地闘争本部に係る建物収去土地明渡請求訴訟について、最高裁において勝訴判決確定 2月14日・第8回成田空港地域共生・共栄会議開催 3月 6日・第5回NAA歴史伝承委員会開催 25日・第6回NAA歴史伝承委員会開催 26日・第38回成田国際空港騒音対策委員会開催 5月29日・第9回成田空港地域共生・共栄会議開催 11月 5日・第10回成田空港地域共生・共栄会議開催

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2012年 (平成24年)	5月30日・国内線旅客数が3000万人突破 6月22日・バイオディーゼル燃料の地産地消に向けた取り組みを開始 26日・国内最大級の大型サイネージ「SKY GATE VISION」が運用開始 7月 3日・京成バス・成田空港交通が高速バス「東京シャトル」を共同運行開始 9日・LCCの国内線就航に伴い、ターミナル運用時間を変更 8月10日・平和交通が高速バス「THE アクセス成田」を運行開始 9月12日・第2ターミナル南側国内線施設がオープン 10月23日・第2ターミナル北側国内線施設がオープン 30日・電気自動車向け急速充電器の運用開始 11月28日・「子育てサポート企業」としての厚生労働省の次世代認定マーク「くるみん」を取得 12月 7日・国際航空貨物量が累計5000万トンを突破(12日に記念式典) 13日・A滑走路南側の着陸滑走路長4000m運用開始	
2013年 (平成25年)	1月16日・B787がバッテリートラブルに伴い運航停止 2月 7日・訪日外国人向けポータルサイト「旅守り：TABIMORI-Travel amulet-」をリリース 20日・NAAホームページをリニューアル 3月 7日・B滑走路西側誘導路および横堀地区エプロン運用開始 12日・第2ターミナル63・64番ゲートラウンジ直下にて、新たな国内線用バスゲートオープン 27日・B滑走路南側緑地帯に放射線量測定地点を追加 28日・2013～2015年度NAAグループ中期経営計画「イノベティブNarita 2015～選ばれる空港を目指して～」発表 31日・空港処理能力が25万回から27万回へ拡大 ・オープンスカイの適用開始 ・離着陸制限(カーフェュー)の弾力的運用を開始 4月 1日・国際線着陸料・国際線手荷物取扱施設使用料改定。国際線着陸料増量割引の導入(～2016年3月31日) 13日・エミレーツ航空のドバイ行きが急病人の発生により出発遅延となり、カーフェューの弾力的運用の初の適用 19日・酒々井プレミアム・アウトレットオープン。フードコート内に成田空港情報コーナーを設置 26日・無料Wi-Fiサービスがターミナル全域に拡大 5月20日・開港35周年 6月 1日・B787型機、定期便運航再開 4日・第2ターミナル国内線用固定ゲート(1ゲート)オープン 12日・デンバー空港(DIA)と姉妹空港締結	2月15日・第7回NAA歴史伝承委員会開催 28日・一坪共有地に係る分割請求訴訟2件について、最高裁において勝訴判決確定 3月19日・第11回成田空港地域共生・共栄会議開催 28日・第39回成田国際空港騒音対策委員会開催 29日・成田空港に関する四者協議会において、「成田空港の離着陸制限(カーフェュー)の弾力的運用に関する確認書」を締結 4月25日・一坪共有地に係る分割請求訴訟2件について、最高裁において勝訴判決確定 5月24日・第12回成田空港地域共生・共栄会議開催 7月 1日・成田国際空港航空機騒音健康影響調査委員会を設立 29日・天神峰地区における空港用地(計6筆)に係る建物等収去土地明渡請求訴訟について、千葉地裁において勝訴判決 12月 3日・民主党成田空港ハブ化推進連盟が「成田空港の機能拡張に関する要望書」を太田国土交通大臣へ提出 13日・第8回NAA歴史伝承委員会開催 15日・第13回成田空港地域共生・共栄会議開催



	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2013年 (平成25年)	6月12日・デジタルアート作品「世界はこんなにもやさしく、美しい」が、デジタルサイネージアワード 2013(ブロンズ賞)を受賞 7月 6日・航空燃料輸送量1億5000万klを突破 10日・ターミナル内初の24時間営業コンビニエンスストア「セブン-イレブン」がオープン 31日・成田空港を中心とした千葉県経済の活性化を官民一体で目指す「成田空港活用協議会」が発足 8月 8日・パイプラインオープン30周年 ・成田スマートインターチェンジの運用時間延長 9月 6日・Future Travel Experienceが開催する「FTE Global 2013」において、「空港セキュリティ部門」のアワードを受賞 26日・シャトルシステムが運用終了 27日・第2ターミナル連絡通路オープン 10月11日・国際線を乗り継ぎされる外国人のお客様向けに「おもてなし」プログラムを期間限定で実施(～12月31日) 12月 1日・「Prayer Room(礼拝室)」へ名称変更 ・有料待合室におけるハラルミールのケータリングサービスの予約を開始 19日・訪日外国人旅行者数年間1000万人達成式典を開催	
2014年 (平成26年)	1月12日・成田市成人式を成田空港で初めて開催 3月25日・航空科学博物館NAAコーナーをリニューアル 4月25日・成田市取香地区の一部に空港敷地を約6ヘクタール広げる申請について、国土交通省へ申請、許可された 6月23日・一般エリアに自動化ゲート利用登録カウンターが設置 26日・ハラル認証レストラン「自家製麺 杵屋麦丸」と「あげたての味 天亭」がオープン ・ビジネスジェット用スポットがマルチスポッ化により、大型機の駐機可能数が最大3スポットへ拡大 7月 1日・成田空港内全飲食店メニューに食材ピクトグラム表示を順次導入開始 ・出国審査後エリアで「Prayer Room(礼拝室)」オープン ・第2ターミナル本館1・2階で、「成田コンシエル NariCo」のデジタルサイネージによる実証実験を開始(2015年1月中旬まで) ・オリンピック・パラリンピック東京大会準備本部を設置、第1回会議を開催 8日・第1ターミナル4階のショッピングエリア「エアポートモール」がグランドオープン ・首都圏空港機能強化技術検討小委員会が中間とりまとめを発表 11日・駐車場料金の早朝・深夜割引制度を導入 20日・第2駐車場ビル地下1階に、成田空港初のカプセルホテル「ナインアワーズ」がオープン	1月15日・千葉県内経済3団体(千葉県経済同友会、千葉県経済協議会、千葉県経営者協会)および成田市内3団体(成田商工会議所、成田市観光協会、成田空港対策協議会)が国土交通省あて要望書提出 2月17日・第14回成田空港地域共生・共栄会議開催 27日・地元4団体(成田商工会議所、成田市観光協会、成田空港対策協議会、成田青年会議所)が成田市長へ要望書提出 3月12日・自由民主党成田国際空港推進議員連盟が成田空港の機能強化などに関する決議を行い、国土交通大臣に申し入れ 27日・第40回成田国際空港騒音対策委員会開催 4月30日・成田商工会議所や空港周辺市町の商工会等で構成される「成田第3滑走路実現する会」が設立。署名活動を実施 5月29日・成田空港対策協議会が今後の空港と地域づくりについて決議 6月 4日・第15回成田空港地域共生・共栄会議開催 19日・成田市東峰字茶畑1-7の一坪共有地の所有権すべてを取得 7月31日・千葉県経営者協会が第3滑走路早期実現等の政策提言を千葉県知事に提出 8月20日・「千葉県経済協議会」が第3滑走路早期実現等の要望書を千葉県知事に提出 10月16日・第16回成田空港地域共生・共栄会議開催

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2014年 (平成26年)	7月31日・訪日外国人向けおもてなしスマホアプリ「旅守り：TABIMORI-TRAVEL AMULET」をリリース 8月 1日・Spring Japanの就航により、ジェットスター・ジャパン、ピーチ・アビエーション、バニアエアの本邦LCC4社すべてが就航する国内唯一の空港へ 9月 1日・第1ターミナル5階の「ローソン」が24時間営業を開始し、第1・第2ターミナルと共にコンビニの24時間営業へ 18日・横堀地区エプロン(増設部分)、ターミナル地区・整備地区を結ぶ新ルートが運用開始 10月 1日・第1ターミナル中央ビル3階の出国審査後エリアにソファを増設 ・利用時間が24時間を超え、120時間までの駐車場料金体系の改定を実施 14日・出国審査後エリアに「補助犬トイレ」を設置 12月 1日・デルタ航空が成田テクニカルオペレーションセンターをオープン 22日・航空旅客数が9億人を突破	
2015年 (平成27年)	2月 1日・エージェンシーとビジネスジェットハンガールのリースを開始 20日・A滑走路西側で太陽光発電設備の運用を開始 3月 1日・Narita Transit Programを開始 27日・第1ターミナル中央ビル3階にKabuki Gateがオープン 29日・空港処理能力が27万回から30万回へ拡大 ・管制機能の高度化(WAMの導入)により時間値が拡大(64→68回) 30日・第3ターミナルオープン式典を実施 ・入場ゲートのノンストップ化を実施(運用切り替えは正午) 4月 1日・成田ハブ化促進インセンティブを導入 ・おもてなしプログラムの一環として、トラベラーズラウンジラッシュランの無料化および、シャワールーム利用料金の50%割引を実施 8日・第3ターミナルがオープン ・国内線PSFCを導入 24日・第2ターミナル出国手続き後エリアの本館とサテライトを結ぶ連絡通路に、NARITA SKY LOUNGE 和がオープン	2月17日・第17回成田空港地域共生・共栄会議開催 20日・最高裁判決に基づく強制執行により、団結小屋(共有者の家)撤去 3月27日・第41回成田国際空港騒音対策委員会開催 4月28日・「成田第3滑走路実現する会」および千葉県経済3団体(千葉県経済同友会、千葉県経済協議会、千葉県経営者協会)が国土交通省大臣へ署名簿および要望書を提出(署名数:約16万6000名) 30日・石井恒司氏と空港予定地内所有地について土地売買契約を締結 5月18日・「成田第3滑走路実現を目指す有志の会」が第3滑走路構想を発表 21日・故小泉よね氏に関する補償に合意 6月 7日・圏央道「神崎—大栄JCT」が開通 9日・第18回成田空港地域共生・共栄会議開催 12日・天神峰地区における空港用地(計6筆)に係る建物等収去土地明渡請求控訴訴訟について、東京高裁において勝訴判決 15日・成田国際空港航空機騒音健康影響調査委員会が調査結果を発表 7月23日・「千葉県経営者協会」が第3滑走路早期実現等の政策提言を千葉県知事に提出 29日・「成田第3滑走路実現を目指す有志の会」が発起人会を開催 9月 2日・横堀地区における団結小屋(横堀現地闘争本部)に係る朽廃建物収去土地明渡請求訴訟について、千葉地裁において勝訴判決 17日・「成田空港に関する四者協議会」が開催され、成田空港の更なる機能強化に向けた検討を開始 28日・第19回成田空港地域共生・共栄会議開催



	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2015年 (平成27年)	6月 2日・航空機発着回数が500万回を突破 (JL413便ヘルシンキ行き) 22日・第1ターミナル前に蓮の和風庭園がオープン 7月 1日・第2ターミナル北側国内線施設1階を北ウェイティングエリアとしてオープン 24日・プリペイド式SIMカードの自動販売機を設置・販売開始 30日・空港アクセス情報提供デジタルサイネージの運用開始 31日・Narita Air & Bus! 第一弾として、成田空港～立山黒部アルペンルート・白馬の高速バス路線を開設 ・第1ターミナル前蓮の和風庭園について観光庁長官より感謝状を授与 8月 1日・P-2駐車場北附属棟がオープン 9月 4日・第2ターミナル「NARITA SKY LOUNGE 和」内の「GALLERY TOTO」が「日本トイレ大賞(国土交通大臣賞)」を受賞 9日・ダラス・フォートワース国際空港 (DFW) と空港間同盟締結 16日・成田空港の離着陸便について、航跡情報のインターネット公開を開始 10月27日・成田空港免税店に液体物の不正開封防止袋 (STEBs) を導入 30日・第3ターミナルが2015年度「グッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)」を受賞 12月17日・第2ターミナル本館南側に固定ゲート4スポットを増設 (67L、67R、68L、68R)	9月30日・成田空港の更なる機能強化推進本部を設置 11月10日・成田空港騒音対策地域連絡協議会が、成田空港の機能強化に関する要望書をNAAに提出 19日・成田市が成田国際空港総合対策本部を設置 12月28日・「成田空港の更なる機能強化に関するパンフレット「成田空港の明日を、いっしょに」を配布および特設サイトをオープン
2016年 (平成28年)	1月 1日・深圳航空が深圳線に新規乗り入れ(出発初便は1月2日) 14日・LOTポーランド航空がワルシャワ線に新規乗り入れ ・四川航空が成都線に新規乗り入れ 22日・第3ターミナルが毎日新聞企業人大学の「千葉イメージアップ大賞」受賞 27日・東京・三越銀座店に空港型免税店「Japan Duty Free Ginza」がオープン 28日・第1・第2・第3ターミナル出国手続き後エリアに、市中免税店引渡しカウンターがオープン 2月 3日・第3ターミナルが「2015年日経優秀製品・サービス賞 最優秀賞 日経MJ賞」受賞 13日・Spring Japanが武漢線に新規就航 14日・Spring Japanが重慶線に新規就航 20日・ピーチ・アビエーションが那覇線に新規就航 3月 3日・第1ターミナル第4サテライト南側エプロンに4スポットオープン 15日・第1ターミナル第5サテライトに固定ゲート2スポット増設 (58A、58B) ・ジェットスター・ジャパンがマニラ線に新規就航	2月 3日・横堀地区における団結小屋(横堀現地闘争本部)に係る朽廃建物収去土地明渡請求控訴訴訟について、東京高裁において勝訴判決

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2016年 (平成28年)	15日・水素ステーションがオープン 16日・SKYTRAX社 国際空港評価「World Airport Awards 2016」2部門で世界第1位 ・UBM社主催Routes Asia2016会議にて「Routes Asia Marketing Awards 優秀賞」受賞 24日・2016～2018年度 NAAグループ中期経営計画「イノベティブNarita2018～世界最高水準の空港を目指して～」を発表 27日・ティーウェイ航空がソウル線に新規乗り入れ 30日・第1・2ターミナル入国審査場にて「ファーストレーン」運用開始 ・「エコ・エアポートビジョン2030」「エコ・エアポート基本計画(2016～2020)」を策定 4月 1日・関西国際空港路線への国内線着陸料軽減措置を適用 14日・熊本地震発生(震度7)し、支援物資を送付 28日・全日本空輸が武漢線に新規就航 5月22日・オーロラ航空がユジノサハリンスク線に新規就航 6月 1日・HRET型空港用化学消防車新規導入(国内初・2台) 2日・第1ターミナル南ウイング航空会社カウンター配置変更 7日・CAPA LCCs in North Asia Summitを開催(～8日) 7月 1日・香港航空が香港線に新規乗り入れ ・ジンエアーがソウル線に新規乗り入れ 4日・成田空港建設の閣議決定から50周年 21日・スクートがバンコク(ドンムアン)経由シンガポール線に新規就航 23日・ハワイアン航空がホノルル線に新規乗り入れ 8月20日・Spring Japanが新千歳線に新規就航 9月 1日・第1・第2ターミナル制限エリアにおいて、電動カートサービスの本格運用を開始 ・全日本空輸がプノンペン線に新規就航 ・ティーウェイ航空が大邱線に新規就航 14日・バニラエアが台北經由ホーチミン線に新規就航 16日・桃園国際空港会社(TIAC)と姉妹空港締結 10月19日・イベリア航空がマドリード線に新規乗り入れ 25日・第2ターミナルから第3ターミナルへの連絡バスルート短縮 31日・WILLER EXPRESS、京成バス、千葉交通が高速バス「成田シャトル」を運行開始 12月 6日・B滑走路南側エプロン等整備に関する空港の変更許可を申請 8日・業務用車両に燃料電池自動車を導入 15日・チェジュ航空が釜山線に新規就航 16日・カンタス航空がメルボルン線に新規就航	3月 9日・第42回成田国際空港騒音対策委員会開催 18日・芝山町「ひこうきの丘」オープン 24日・第20回成田空港地域共生・共栄会議開催 30日・「成田第3滑走路実現を目指す有志の会」が千葉県知事に要望書を提出 5月15日・横芝光町航空機騒音対策協議会発足 6月13日・成田空港の更なる機能強化に係る計画段階環境配慮書を縦覧・公表 7月 1日・成田空港地域共生・共栄会議事務局が「成田空港空と大地の歴史館」隣接地に移転 ・「成田空港空と大地の歴史館」内に「空港情報コーナー」がオープン 21日・横堀地区における団結小屋(横堀現地闘争本部)に係る朽廃建物収去土地明渡請求上告訴訟について、最高裁において勝訴判決確定 8月 8日・第21回成田空港地域共生・共栄会議開催 9月20日・「成田第3滑走路実現を目指す有志の会」が自由民主党成田国際空港推進議員連盟会長、航空局長に成田空港の更なる機能強化に関する要望書を提出 27日・「成田空港に関する四者協議会」が開催され、成田空港の更なる機能強化の検討を進めるに当たっての確認書を締結 10月 3日・「成田空港対策協議会」が成田空港圏自治体連絡協議会会長に成田空港の更なる機能強化に関する意見書を提出 6日・「成田第3滑走路実現を目指す有志の会」が千葉県知事に成田空港の更なる機能強化に関する要望書を提出 14日・「成田空港の機能拡充と地域経済の活性化を実現する会」および「成田第3滑走路を実現する会」が成田空港の機能拡充に関する要望書を国、千葉県、NAA他に提出 25日・「成田空港対策協議会」が国、千葉県、NAAに成田空港の更なる機能強化に関する意見書を提出 ・天神峰地区における空港用地(計6筆)に係る建物等収去土地明渡請求訴訟について、最高裁決定により勝訴判決確定 11月 1日・第22回成田空港地域共生・共栄会議開催 7日・「成田第3滑走路実現を目指す有志の会」が成田空港の更なる機能強化に関する要望書をNAAに提出 16日・「NARITA空港圏青年交流会」が成田空港の機能拡充に関する意見書を提出 12月 8日・空港展開候補地内にある芝山町中郷区が、成田空港の更なる機能強化に関する表意書を芝山町に提出



	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2016年 (平成28年)	22日・成田空港ブランドロゴ、ならびに成田国際空港公式WEBサイトをリニューアル 25日・バニラエアがセブ線に新規就航	
2017年 (平成29年)	1月28日・Spring Japanが天津線に新規就航 29日・Spring Japanがハルビン線に新規就航 31日・ヤクーツク航空がユジノサハリンスク線に新規乗り入れ 2月15日・全日本空輸がメキシコシティ線に新規就航 18日・バニラエアが関西線に新規就航 19日・バニラエアが函館線に新規就航 27日・国際会議「IATA PEMG 15」を成田で開催（～3月3日まで） 3月10日・B滑走路南側エプロン等整備に関する空港施設の変更について国より許可される 14日・SKYTRAX社国際空港評価「World Airport Awards 2017」第3ターミナルが2年連続世界第1位 20日・オーロラ航空がウラジオストク線に新規就航 29日・国際保安検査場にボディスキャナーを導入 30日・国際線として日本初の自動手荷物預け機を導入 4月1日・成田空港マーケティングインセンティブを導入 5月25日・インドネシア・エアアジアXがデンパサール線に新規乗り入れ 31日・ベトナム空港会社（ACV）と空港間協定を締結 6月2日・ジェットスター・ジャパンが上海線に新規就航 8日・エアプサンが大邱線に新規就航 7月12日・第1ターミナル周辺道路の変更を実施 28日・開港以来の航空旅客数累計10億人達成記念式典を開催 31日・訪日外国人向けおもてなしアプリ『TABIMORI-TRAVEL AMULET』に新たな機能が加わり、大規模リニューアル 8月9日・ターミナル連絡バス乗降場に運行状況をリアルタイムに表示するデジタルサイネージを導入 10日・第1ターミナル到着階にVisitor Service Centerを新設 9月1日・日本航空がメルボルン線に新規就航 ・第2ターミナル国際線到着エリアに『到着時免税店』（北側）がオープン（南側は4日） 2日・ティーウェイ航空が済州（チェジュ）線に新規就航 15日・日本航空がコナ線に新規就航 10月18日・国際航空貨物量が累計6000万トンを突破（24日に記念式典） 29日・エジプト航空がカイロ線に新規乗り入れ 31日・エアソウルがソウル線に新規乗り入れ	1月11日・「成田空港騒音対策地域連絡協議会」が成田空港の機能拡充に関する要望書を千葉県、NAAに提出 27日・成田空港の更なる機能強化に係る環境影響評価方法書を縦覧・公表 2月6日・横芝光町が成田空港の機能拡充に関する要望書を国、千葉県、NAAに提出 27日・第23回成田空港地域共生・共栄会議開催 3月16日・「多古町航空機騒音等対策協議会」が成田空港の更なる機能強化に関する要望書を国、千葉県、多古町、NAAに提出 24日・第43回成田国際空港騒音対策委員会開催 21日・空港展開候補地内にある芝山町菱田東区が、成田空港の更なる機能強化に関する表意書をNAAに提出 27日・「成田空港地域共生・共栄会議」が地域振興連絡協議会にこれからの成田空港に関する提言書を提出 4月3日・横芝光町役場内に山武地域相談センターを開設 6日・「横芝光町航空機騒音等対策協議会」が成田空港の更なる機能強化に関する意見書を国、千葉県、NAAに提出 17日・「自由民主党千葉県議会議員会成田国際空港推進議員連盟」が成田空港の機能強化に関する要望書を千葉県に提出 5月8日・「成田空港圏自治体連絡協議会」が成田空港の更なる機能強化に関する要望書を千葉県に提出 11日・「成田空港圏自治体連絡協議会」が成田空港の機能強化に関する要望書を国、NAAに提出 ・千葉県が成田空港の更なる機能強化に関する要請を国、NAAに提出 22日・第24回成田空港地域共生・共栄会議開催 30日・千葉県知事及びNAA社長が成田市荒海地区及び横芝光町中心部において地域関係者と意見交換と現地視察を実施 31日・最高裁決定に基づく強制執行により、横堀地区における団結小屋（横堀現地闘争本部）撤去 6月12日・「成田空港に関する四者協議会」が開催され、成田空港の更なる機能強化に関する今後の取組みについての確認書を締結 26日・横芝光町及び横芝光町議会が成田空港の更なる機能強化に関する要望書を国、千葉県、NAAに提出

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2017年 (平成29年)	11月 2日・第16回東アジア空港同盟(EAAA) 年次会議を成田で開催 15日・第3ターミナル国際線到着エリアに『到着時免税店』がオープン(第1ターミナル南ウイングは12月1日、北ウイングは12月15日) 12月16日・京成バスが高速バス「有楽町シャトル」を運行開始 21日・ジェットスター・ジャパンが宮崎線に新規就航	7月10日・空港展開候補地内にある芝山町中谷津区が、成田空港の更なる機能強化に関する要望書を芝山町、NAAに提出 8月22日・空港展開候補地内にある芝山町加茂区が、成田空港の更なる機能強化に関する提案書を芝山町、NAAに提出 9月 5日・空港展開候補地内にある多古町一畝田区が、成田空港の更なる機能強化に関する要望書を多古町、NAAに提出(これにより展開候補地内の集落5区全てから文書が提出された) 8日・第25回成田空港地域共生・共栄会議開催 25日・「成田第3滑走路実現を目指す有志の会」が成田空港の機能拡張と地域振興策に関する建言書を国、千葉県、成田空港圏自治体連絡協議会、NAAに提出
2018年 (平成30年)	1月10日・空港カーボン認証レベル2取得 3月21日・SKYTRAX社国際空港評価「World Airport Awards 2018」セキュリティで世界第1位 4月 1日・空港内保育ルーム『たんぽぽ』が拡張オープン 6日・第2ターミナルにアニメ聖地88の情報が得られる『Anime Tourism Information』がオープン 16日・訪日旅行の情報サイト『TOKYO-NARITA JAPAN EXPLORER』をリリース 17日・「成田空港ユニバーサルデザイン基本計画」を発表 23日・ACIアジア太平洋地域総会をホスト空港として千葉・幕張にて開催(～4月25日まで) 29日・S7航空がイルクーツク線に新規就航 5月 2日・インドネシア・エアアジアXがジャカルタ線に新規就航 16日・オーストリア航空がウィーン線に新規乗り入れ 20日・開港40周年 6月 1日・ノックスコートがバンコク(ドンムアン)線に新規乗り入れ 2日・エア・カナダがモントリオール線に新規就航 3日・S7航空がノヴォシビルスク線に新規就航 29日・パキスタン航空がカラチ線に新規就航 7月 1日・バニラエアが石垣線に新規就航 3日・フィジー・エアウェイズがナンディ線に新規乗り入れ 12日・P1立体駐車場を拡大オープン 24日・第1ターミナル第1サテライトに航空会社共用ラウンジ『NARITA PREMIER LOUNGE』がオープン 9月 1日・ニューギニア航空がチューク線に新規就航 6日・ジェットスター・ジャパンが長崎線に新規就航 20日・成田空港高精度屋内ナビゲーションアプリ『NariNAVI(ナリナビ)』をリリース	1月23日・「横芝光町航空機騒音対策協議会」が成田空港の更なる機能強化の見直し案に関する要望書を国、千葉県、NAAに提出 31日・「成田空港圏自治体連絡協議会」が成田空港の更なる機能強化に関する再要望書を国、NAAに提出 ・千葉県が成田空港の更なる機能強化に関する再要請を国、NAAに提出 2月19日・国、NAAが1月31日に空港圏自治体連絡協議会から提出された再要望書に対する回答書を提出 3月 9日・「NARITA空港圏青年交流会」が成田空港の機能強化に向けた意見書を提出 13日・「成田空港に関する四者協議会」が開催され、成田空港の更なる機能強化に関して、実施することを四者で合意し、確認書を締結 15日・第26回成田空港地域共生・共栄会議開催 3月29日・第44回騒音対策委員会開催 4月 2日・多古町役場内に東地域相談センターを開設 ・「NARITA空港圏青年交流会」が成田国際空港の機能強化に向けた意見書を提出 4日・「成田第3滑走路実現する会」、「成田空港の機能拡充と地域経済の活性化を実現する会」が成田第3滑走路早期建設に関する要望書を国、千葉県、空港圏自治体連絡協議会、NAAに提出 27日・成田空港の更なる機能強化に係る環境影響評価準備書を縦覧・公表 5月31日・第27回成田空港地域共生・共栄会議開催 6月 5日・第11回NAA歴史伝承委員会開催 7月11日・「成田第3滑走路実現を目指す有志の会」が「成田空港と地域の繁栄を目指す有志の会」に名称を変更



	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2018年 (平成30年)	10月28日・マンダリン航空が台中線に定期便として新規就航(定期チャーター便として2018年6月14日から就航) ・チェジュ航空が大邱線に新規就航 11月15日・到着時免税店で香水の取り扱いを開始 21日・空港カーボン認証レベル3取得 12月6日・時間値72回に向けた高速離脱誘導路の先行部供用開始 7日・タイライオンエアがバンコク(ドンムアン)線に新規就航 17日・制限区域内の自動走行実証実験を開始(以降、順次) 20日・第1ターミナル地下コンコース(出国手続き前エリア)に日本美術の名品によるおもてなし空間が拡張	8月20日・「多古町航空機騒音等対策協議会」が更なる機能強化に関する要望書を国、千葉県、多古町、NAAに提出 9月28日・「成田第3滑走路実現する会」、「成田空港の機能拡充と地域経済の活性化を実現する会」が成田第3滑走路早期建設に関する再要望書を国、千葉県、空港圏自治体連絡協議会、NAAに提出 10月26日・第28回成田空港地域共生・共栄会議開催 11月 2日・「成田空港と地域の繁栄を目指す有志の会」が国、自由民主党成田国際空港推進協議会議員連盟に成田空港の更なる機能強化に関する要望書を提出 22日・芝山町議会、多古町議会、横芝光町議会が地域振興策の早期実行に関する決議を国、千葉県、NAAに提出 12月20日・「成田空港圏自治体連絡協議会」が開催され、NAAより、A滑走路の夜間飛行制限変更の開始時期について2019年冬ダイヤから実施したい旨説明
2019年 (平成31年)	1月 8日・オーロラ航空がユジノサハリンスク線に新規就航 11日・ベトジェットがハノイ線に新規乗り入れ 28日・日本貨物航空がフランクフルト(ハーン)線に復便 2月22日・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会オフィシャルパートナー契約(空港サービス)を締結 3月 1日・第1・第2ターミナル到着コンコースで空間演出を実施 15日・ロイヤルブルネイ航空がバンドルスリプガワン線に新規就航 28日・NAAグループ中長期経営構想を発表 ・第3ターミナルの新しい路線バス降車場がオープン 29日・国土強靱化貢献団体認証取得 30日・ジェットスター・ジャパンが宮古(下地島)線に新規就航 31日・日本航空がシアトル線に新規就航 ・チェジュ航空が務安線に新規就航 4月25日・Spring Japanが寧波線に新規就航 6月 1日・ピーチ・アビエーションが那覇線に新規就航 7月 1日・IBEXエアラインズが仙台線に新規就航 5日・新ウランバートル国際空港運営事業参画 12日・ベトジェットエアがホーチミン線に新規就航 24日・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会1年前イベントを開催 25日・スリランカ航空がマレー線に新規就航(～10/26まで) 8月 1日・ジェットスター・ジャパンが庄内線に新規就航 2日・カリッタエアがシカゴ線に新規乗り入れ 9日・セブパシフィック航空がクラーク線に新規就航	2月 4日・「成田空港圏自治体連絡協議会」が開催され、A滑走路の夜間飛行制限変更の開始時期について、2019年冬ダイヤから実施することに同意 ・「成田空港に関する四者協議会」が開催され、A滑走路の夜間飛行制限変更の開始時期について、2019年冬ダイヤから実施することを四者で確認 15日・山武市および山武市議会が地域振興策等の早期実行に関する要望書を国、千葉県、NAAに提出 3月 6日・第29回成田空港地域共生・共栄会議開催 26日・第45回騒音対策委員会開催 5月16日・航空機騒音健康影響調査委員会を設立 30日・第30回成田空港地域共生・共栄会議開催 7月25日・多古町が成田空港の更なる機能強化に関する要望書をNAAに提出 8月 6日・第12回NAA歴史伝承委員会開催 10月25日・第31回成田空港地域共生・共栄会議開催

	NAAの歩み	共生・共栄の経緯
2019年 (平成31年)	9月 1日・全日本空輸がパース線に新規就航 ・ピーチ・アビエーションが札幌（新千歳）線に新規就航 5日・第3ターミナル1階到着ロビーを拡張 12日・成田空港がプラスチック・スマート宣言 10月 1日・ピーチ・アビエーションが奄美線に新規就航 27日・A滑走路の夜間飛行制限を変更 ・全日本空輸がチェンナイ線に新規就航 ・ピーチ・アビエーションが高雄線、台北線に新規就航 ・春秋航空が上海線に新規乗り入れ ・吉祥航空が上海線に新規乗り入れ ・厦門航空が福州線に新規就航 ・中国南方航空が上海線に新規就航 ・カーゴルックスイタリアがミラノ線に新規就航 29日・中国南方航空が深圳線に新規就航 30日・中国貨運航空が上海線に新規乗り入れ ・SCAT航空がヌルスルタン線に新規乗り入れ 31日・海南航空が北京線に新規就航 11月20日・エアアジアXがクアラルンプール線に新規乗り入れ	

(注) 新規乗り入れ：成田空港として新たに航空会社が就航すること
 新規就航：航空会社として新たな都市へ就航すること



4 成田空港における達成記録の一覧

【航空機発着回数(累計)】

1990年	11月 6日	100万回突破
1994年	12月20日	150万回突破
1998年	12月23日	200万回突破
2005年	6月 8日	300万回突破
2010年	9月 4日	400万回突破
2013年	8月31日	開港以来初めて、月間累計が2万回を突破
2015年	6月 2日	500万回突破
2019年	6月 7日	600万回突破

【航空旅客数(累計)】

1988年	3月19日	1億人突破
1993年	2月 5日	2億人突破
1997年	4月 3日	3億人突破
2001年	2月16日	4億人突破
2004年	9月20日	5億人突破
2008年	11月25日	7億人突破
2012年	2月 6日	8億人突破
2014年	12月22日	9億人突破
2017年	7月28日	10億人突破

【国際航空貨物量(累計)】

1991年	1月18日	1000万トン突破
1997年	10月13日	2000万トン突破
2003年	5月29日	3000万トン突破
2007年	11月18日	4000万トン突破
2012年	12月 7日	5000万トン突破
2017年	10月18日	6000万トン突破

【その他】

1990年	8月20日	航空燃料搬入タンカー 1万隻突破
	11月30日	年間海外渡航者数1000万人突破
1997年	8月13日	航空燃料搬入タンカー 2万隻突破
2003年	11月17日	航空燃料輸送量 1億kl突破
2005年	4月 1日	2004年の成田空港における貿易額が輸出入とも初めて10兆円突破
	8月 7日	航空燃料搬入タンカー 3万隻突破
2013年	7月 6日	航空燃料輸送量 1億5000万kl突破
2014年	1月30日	航空燃料搬入タンカー 4万隻突破



5 成田空港運用状況(年度別)

区分	1978年度		1979年度		1980年度		1981年度		1982年度		1983年度		1984年度		1985年度	
	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均
航空機発着回数(回)	52,613	167	64,925	177	64,198	176	62,840	172	63,699	175	67,816	185	73,443	201	77,675	213
国際線	47,924	152	58,906	161	58,748	161	58,697	161	59,860	164	64,321	176	69,788	191	73,897	202
旅客便	37,923	120	47,320	129	47,389	130	47,488	130	48,861	134	51,663	141	55,372	152	59,304	162
貨物便	9,029	29	10,427	28	10,336	28	10,210	28	10,184	28	11,324	31	12,484	34	12,763	35
その他	972	3	1,159	3	1,023	3	999	3	815	2	1,334	4	1,932	5	1,830	5
国内線	4,689	15	6,019	16	5,450	15	4,143	11	3,839	11	3,495	10	3,655	10	3,778	10
旅客便	3,998	13	5,042	14	4,755	13	3,547	10	3,121	9	2,987	8	3,082	8	3,127	9
その他	691	2	977	3	695	2	596	2	718	2	508	1	573	2	651	2
航空旅客数(人)	7,071,675	22,450	9,010,252	24,618	9,143,723	25,051	9,895,470	27,111	10,539,084	28,874	11,594,549	31,679	12,872,743	35,268	13,640,530	37,371
国際線	6,638,258	21,074	8,369,578	22,868	8,557,717	23,446	9,495,299	26,015	10,154,183	27,820	11,215,611	30,644	12,436,282	34,072	13,197,782	36,158
日本人	3,920,975	12,448	4,897,440	13,381	4,666,744	12,786	4,669,417	12,793	4,787,478	13,116	5,000,724	13,663	5,530,900	15,153	5,864,910	16,068
外国人	1,356,671	4,307	1,765,174	4,823	2,013,885	5,517	2,307,482	6,322	2,591,307	7,099	2,924,063	7,989	3,172,520	8,692	3,482,528	9,541
通過客	1,360,612	4,319	1,706,964	4,664	1,877,088	5,143	2,518,400	6,900	2,775,398	7,604	3,290,824	8,991	3,732,862	10,227	3,850,344	10,549
国内線	433,417	1,376	640,674	1,750	586,006	1,605	400,171	1,096	384,901	1,055	378,938	1,035	436,461	1,196	442,748	1,213
国際航空貨物量(t)	328,526	1,042	445,766	1,218	475,442	1,303	509,661	1,396	528,432	1,448	665,412	1,818	709,714	1,944	767,283	2,102
積込	165,192	524	230,254	629	260,734	714	277,582	760	289,981	794	374,380	1,023	396,201	1,085	419,971	1,151
輸出	112,614	357	157,467	430	184,078	504	184,866	506	188,135	515	242,364	662	271,452	744	271,070	743
仮陸揚	52,578	167	72,787	199	76,656	210	92,716	254	101,846	279	132,016	361	124,749	342	148,901	408
取卸	163,334	518	215,512	589	214,708	588	232,079	636	238,451	653	291,032	795	313,513	859	347,312	952
輸入	110,756	352	142,725	390	138,052	378	139,363	382	136,605	374	159,016	434	188,036	515	198,883	545
仮陸揚	52,578	167	72,787	199	76,656	210	92,716	254	101,846	279	132,016	361	125,477	344	148,429	407
給油量(kℓ)	1,402,508	4,467	1,724,921	4,713	1,801,708	4,936	1,871,935	5,129	1,918,628	5,257	2,259,277	6,173	2,533,918	6,942	2,674,401	7,327



区分	1986年度		1987年度		1988年度		1989年度		1990年度		1991年度		1992年度		1993年度	
	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均
航空機発着回数(回)	83,972 (108)	230	94,119 (112)	257	107,266 (114)	294	115,118 (107)	315	118,408 (103)	324	121,617 (103)	332	120,937 (99)	331	122,227 (101)	335
国際線	79,595 (108)	218	89,390 (112)	244	102,016 (114)	279	110,075 (108)	302	113,191 (103)	310	116,563 (103)	318	115,803 (99)	317	116,929 (101)	320
旅客便	63,154 (106)	173	70,958 (112)	194	82,070 (116)	225	89,732 (109)	246	93,342 (104)	256	96,576 (103)	264	96,228 (100)	264	97,549 (101)	267
貨物便	13,553 (106)	37	15,275 (113)	42	17,147 (112)	47	17,756 (104)	49	17,327 (98)	47	18,092 (104)	49	17,777 (98)	49	17,405 (98)	48
その他	2,888 (158)	8	3,157 (109)	9	2,799 (89)	8	2,587 (92)	7	2,522 (97)	7	1,895 (75)	5	1,798 (95)	5	1,975 (110)	5
国内線	4,377 (116)	12	4,729 (108)	13	5,250 (111)	14	5,043 (96)	14	5,217 (103)	14	5,054 (97)	14	5,134 (102)	14	5,298 (103)	15
旅客便	3,725 (119)	10	3,942 (106)	11	4,619 (117)	13	4,604 (100)	13	4,604 (100)	13	4,615 (100)	13	4,729 (102)	13	4,857 (103)	13
その他	652 (100)	2	787 (121)	2	631 (80)	2	439 (70)	1	613 (140)	2	439 (72)	1	405 (92)	1	441 (109)	1
航空旅客数(人)	14,276,969 (105)	39,115	17,422,959 (122)	47,604	20,615,146 (118)	56,480	22,714,586 (110)	62,232	22,864,254 (101)	62,642	24,170,053 (106)	66,038	23,840,062 (99)	65,315	24,778,476 (104)	67,886
国際線	13,781,246 (104)	37,757	16,798,332 (122)	45,897	19,812,839 (118)	54,282	21,862,647 (110)	59,898	21,970,661 (100)	60,194	23,268,780 (106)	63,576	22,839,536 (98)	62,574	23,721,567 (104)	64,991
日本人	6,749,678 (115)	18,492	8,689,787 (129)	23,743	10,821,848 (125)	29,649	12,460,951 (115)	34,140	12,961,121 (104)	35,510	13,980,349 (108)	38,198	13,889,795 (99)	38,054	14,689,888 (106)	40,246
外国人	3,169,412 (91)	8,683	3,358,599 (106)	9,177	3,718,071 (111)	10,186	4,235,218 (114)	11,603	4,540,898 (107)	12,441	4,975,427 (110)	13,594	4,860,343 (98)	13,316	4,767,165 (98)	13,061
通過客	3,862,156 (100)	10,581	4,749,946 (123)	12,978	5,272,920 (111)	14,446	5,166,478 (98)	14,155	4,468,642 (86)	12,243	4,313,004 (97)	11,784	4,089,398 (95)	11,204	4,264,514 (104)	11,684
国内線	495,723 (112)	1,358	624,627 (126)	1,707	802,307 (128)	2,198	851,939 (106)	2,334	893,593 (105)	2,448	901,273 (101)	2,462	1,000,526 (111)	2,741	1,056,909 (106)	2,896
国際航空貨物量(t)	882,289 (115)	2,417	1,061,725 (120)	2,901	1,226,907 (116)	3,361	1,328,317 (108)	3,639	1,371,809 (103)	3,758	1,309,536 (95)	3,578	1,306,677 (100)	3,580	1,420,130 (109)	3,891
積込	448,025 (107)	1,227	511,649 (114)	1,398	560,578 (110)	1,536	592,885 (106)	1,624	647,231 (109)	1,773	604,908 (93)	1,653	582,841 (96)	1,597	593,896 (102)	1,627
輸出	262,264 (97)	719	315,828 (120)	863	344,558 (109)	944	378,662 (110)	1,037	430,619 (114)	1,180	401,914 (93)	1,098	363,647 (90)	996	372,717 (102)	1,021
仮陸揚	185,761 (125)	509	195,821 (105)	535	216,020 (110)	592	214,223 (99)	587	216,612 (101)	593	202,994 (94)	555	219,194 (108)	601	221,179 (101)	606
取卸	434,264 (125)	1,190	550,076 (127)	1,503	666,329 (121)	1,826	735,432 (110)	2,015	724,578 (99)	1,985	704,628 (97)	1,925	723,836 (103)	1,983	826,234 (114)	2,264
輸入	250,649 (126)	687	356,788 (142)	975	452,595 (127)	1,240	522,292 (115)	1,431	509,092 (97)	1,395	503,859 (99)	1,377	506,337 (100)	1,387	603,596 (119)	1,654
仮陸揚	183,615 (124)	503	193,288 (105)	528	213,734 (111)	586	213,140 (100)	584	215,486 (101)	590	200,769 (93)	549	217,499 (108)	596	222,638 (102)	610
給油量(kℓ)	2,965,489 (111)	8,125	3,425,040 (115)	9,358	3,878,663 (113)	10,626	4,359,934 (112)	11,945	4,535,339 (104)	12,426	4,747,400 (105)	12,971	4,778,664 (101)	13,092	4,772,673 (100)	13,076

区分	1994年度		1995年度		1996年度		1997年度		1998年度		1999年度		2000年度		2001年度	
	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均
航空機発着回数(回)	122,624 (100)	336	124,189 (101)	339	124,469 (100)	341	125,026 (100)	343	128,317 (103)	352	133,112 (104)	364	133,046 (100)	365	129,000 (97)	353
国際線	117,336 (100)	321	118,995 (101)	325	119,286 (100)	327	119,892 (101)	328	123,150 (103)	337	127,996 (104)	350	127,980 (100)	351	124,670 (97)	342
旅客便	98,215 (101)	269	99,605 (101)	272	99,615 (100)	273	99,371 (100)	272	102,157 (103)	280	106,529 (104)	291	106,638 (100)	292	103,372 (97)	283
貨物便	17,065 (98)	47	17,280 (101)	47	17,200 (100)	47	18,309 (106)	50	18,906 (103)	52	19,750 (104)	54	19,926 (101)	55	19,412 (97)	53
その他	2,056 (104)	6	2,110 (103)	6	2,471 (117)	7	2,212 (90)	6	2,087 (94)	6	1,717 (82)	5	1,416 (82)	4	1,886 (133)	5
国内線	5,288 (100)	14	5,194 (98)	14	5,183 (100)	14	5,134 (99)	14	5,167 (101)	14	5,116 (99)	14	5,066 (99)	14	4,330 (85)	12
旅客便	4,881 (100)	13	4,873 (100)	13	4,867 (100)	13	4,886 (100)	13	4,874 (100)	13	4,898 (100)	13	4,771 (97)	13	4,021 (84)	11
その他	407 (92)	1	321 (79)	1	316 (98)	1	248 (78)	1	293 (118)	1	218 (74)	1	295 (135)	1	309 (105)	1
航空旅客数(人)	25,662,982 (104)	70,310	26,610,804 (104)	72,707	27,533,175 (103)	75,433	27,107,741 (98)	74,268	26,659,709 (98)	73,040	28,461,908 (107)	77,765	30,257,566 (106)	82,897	27,444,207 (91)	75,190
国際線	24,708,132 (104)	67,694	25,775,895 (104)	70,426	26,752,633 (104)	73,295	26,310,352 (98)	72,083	25,878,241 (98)	70,899	27,687,358 (107)	75,649	29,458,632 (106)	80,709	26,772,658 (91)	73,350
日本人	15,965,031 (109)	43,740	17,392,270 (109)	47,520	17,845,690 (103)	48,892	17,197,392 (96)	47,116	16,552,744 (96)	45,350	17,054,521 (103)	46,597	18,390,623 (108)	50,385	15,685,849 (85)	42,975
外国人	4,759,815 (100)	13,041	4,604,157 (97)	12,580	4,989,993 (108)	13,671	5,268,968 (106)	14,436	5,249,783 (100)	14,383	5,637,429 (107)	15,403	5,982,469 (106)	16,390	5,980,621 (100)	16,385
通運客	3,983,286 (93)	10,913	3,779,468 (95)	10,326	3,916,950 (104)	10,731	3,843,992 (98)	10,531	4,075,714 (106)	11,166	4,995,408 (123)	13,649	5,085,540 (102)	13,933	5,106,188 (100)	13,990
国内線	954,850 (90)	2,616	834,909 (87)	2,281	780,542 (93)	2,138	797,389 (102)	2,185	781,468 (98)	2,141	774,550 (99)	2,116	798,934 (103)	2,189	671,549 (84)	1,840
国際航空貨物量(t)	1,583,618 (112)	4,339	1,592,685 (101)	4,352	1,588,875 (100)	4,353	1,668,936 (105)	4,572	1,607,224 (96)	4,403	1,828,141 (114)	4,995	1,842,558 (101)	5,048	1,603,940 (87)	4,394
積込	652,195 (110)	1,787	634,507 (97)	1,734	671,057 (106)	1,839	765,014 (114)	2,096	735,862 (96)	2,016	844,245 (115)	2,307	834,827 (99)	2,287	680,846 (82)	1,865
輸出	449,381 (121)	1,231	481,966 (107)	1,317	516,868 (107)	1,416	600,238 (116)	1,644	564,175 (94)	1,546	654,749 (116)	1,789	677,517 (103)	1,856	536,485 (79)	1,470
仮陸揚	202,814 (92)	556	152,541 (75)	417	154,189 (101)	422	164,776 (107)	451	171,687 (104)	470	189,496 (110)	518	157,310 (83)	431	144,361 (92)	396
取卸	931,423 (113)	2,552	958,178 (103)	2,618	917,818 (96)	2,515	903,922 (98)	2,476	871,362 (96)	2,387	983,896 (113)	2,688	1,007,731 (102)	2,761	923,094 (92)	2,529
輸入	725,312 (120)	1,987	804,011 (111)	2,197	762,103 (95)	2,088	738,240 (97)	2,023	703,457 (95)	1,927	804,894 (114)	2,199	863,473 (107)	2,366	791,481 (92)	2,168
仮陸揚	206,111 (93)	565	154,167 (75)	421	155,715 (101)	427	165,682 (106)	454	167,905 (101)	460	179,002 (107)	489	144,258 (81)	395	131,613 (91)	361
給油量(kℓ)	4,912,675 (103)	13,459	4,986,599 (102)	13,625	5,125,819 (103)	14,043	5,158,471 (101)	14,133	5,182,389 (100)	14,198	5,450,972 (105)	14,893	5,373,752 (99)	14,723	5,064,704 (94)	13,876



区分	2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		2009年度	
	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均
航空機発着回数(回)	176,365 (137)	490	171,127 (97)	468	186,633 (109)	511	187,888 (101)	515	190,636 (101)	522	194,115 (102)	530	191,331 (99)	524	187,051 (98)	512
国際線	165,389 (133)	453	159,396 (96)	436	174,386 (109)	478	175,296 (101)	480	177,474 (101)	486	180,781 (102)	494	177,686 (98)	487	171,788 (97)	471
旅客便	137,794 (133)	378	130,698 (95)	357	145,336 (111)	398	145,928 (100)	400	147,781 (101)	405	151,576 (103)	414	150,824 (100)	413	147,991 (98)	405
貨物便	25,484 (131)	70	26,551 (104)	73	26,656 (100)	73	26,703 (100)	73	27,327 (102)	75	26,864 (98)	73	24,639 (92)	68	21,816 (89)	60
その他	2,111 (112)	6	2,147 (102)	6	2,394 (112)	7	2,665 (111)	7	2,366 (89)	6	2,341 (99)	6	2,223 (95)	6	1,981 (89)	5
国内線	10,976 (253)	30	11,731 (107)	32	12,247 (104)	34	12,592 (103)	34	13,162 (105)	36	13,334 (101)	36	13,645 (102)	37	15,263 (112)	42
旅客便	10,608 (264)	29	11,439 (108)	31	11,887 (104)	33	12,125 (102)	33	12,659 (104)	35	12,893 (102)	35	13,299 (103)	36	14,905 (112)	41
その他	368 (119)	1	292 (79)	1	360 (123)	1	467 (130)	1	503 (108)	1	441 (88)	1	346 (78)	1	358 (103)	1
航空旅客数(人)	33,178,445 (121)	90,900	29,959,785 (90)	81,857	35,120,453 (117)	96,220	34,671,087 (99)	94,989	35,335,610 (102)	96,810	35,388,987 (100)	96,691	32,648,605 (92)	89,448	32,847,453 (101)	89,993
国際線	32,071,073 (120)	87,866	28,860,765 (90)	78,855	33,979,932 (118)	93,096	33,563,088 (99)	91,954	34,185,230 (102)	93,658	34,163,302 (100)	93,342	31,514,468 (92)	86,341	31,518,506 (100)	86,352
日本人	18,527,494 (118)	50,760	15,534,881 (84)	42,445	19,351,890 (125)	53,019	19,045,443 (98)	52,179	19,308,030 (101)	52,899	18,783,355 (97)	51,321	17,019,917 (91)	46,627	16,695,589 (98)	45,741
外国人	7,173,331 (120)	19,653	7,183,526 (100)	19,627	7,934,608 (110)	21,739	8,066,003 (102)	22,099	8,501,470 (105)	23,292	9,280,159 (109)	25,356	8,546,107 (92)	23,414	8,243,729 (96)	22,586
通過客	6,370,248 (125)	17,453	6,142,358 (96)	16,782	6,693,434 (109)	18,338	6,451,642 (96)	17,676	6,375,730 (99)	17,468	6,099,788 (96)	16,666	5,949,444 (98)	16,300	6,579,188 (111)	18,025
国内線	1,107,372 (165)	3,034	1,099,020 (99)	3,003	1,140,521 (104)	3,125	1,107,999 (97)	3,036	1,150,380 (104)	3,152	1,225,685 (107)	3,349	1,134,137 (93)	3,107	1,328,947 (117)	3,641
国際航空貨物量(t)	2,030,149 (127)	5,562	2,149,185 (106)	5,872	2,297,555 (107)	6,295	2,236,346 (97)	6,127	2,220,481 (99)	6,084	2,224,077 (100)	6,077	1,880,936 (85)	5,153	1,962,600 (104)	5,377
積込	921,412 (135)	2,524	1,002,577 (109)	2,739	1,105,209 (110)	3,028	1,064,968 (96)	2,918	1,078,285 (101)	2,954	1,102,989 (102)	3,014	883,775 (80)	2,421	919,394 (104)	2,519
輸出	716,354 (134)	1,963	787,778 (110)	2,152	893,384 (113)	2,448	841,582 (94)	2,306	845,088 (100)	2,315	845,609 (100)	2,310	647,201 (77)	1,773	665,974 (103)	1,825
仮降揚	205,058 (142)	562	214,799 (105)	587	211,825 (99)	580	223,386 (105)	612	233,197 (104)	639	257,380 (110)	703	236,574 (92)	648	253,420 (107)	694
取卸	1,108,737 (120)	3,038	1,146,608 (103)	3,133	1,192,346 (104)	3,267	1,171,378 (98)	3,209	1,142,196 (98)	3,129	1,121,088 (98)	3,063	997,161 (89)	2,732	1,043,206 (105)	2,858
輸入	911,786 (115)	2,498	939,298 (103)	2,566	989,513 (105)	2,711	960,981 (97)	2,633	922,567 (96)	2,528	879,705 (95)	2,404	776,104 (88)	2,126	798,471 (103)	2,188
仮降揚	196,951 (150)	540	207,310 (105)	566	202,833 (98)	556	210,397 (104)	576	219,629 (104)	602	241,383 (110)	660	221,057 (92)	606	244,735 (111)	671
給油量(kℓ)	5,758,126 (114)	15,776	5,486,636 (95)	14,991	5,890,205 (107)	16,138	5,782,840 (98)	15,843	5,698,370 (99)	15,612	5,622,869 (99)	15,363	5,210,556 (93)	14,275	4,783,460 (92)	13,105

区分	2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		累計
	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	年度計	日平均	
航空機発着回数(回)	191,426 (102)	524	187,237 (98)	512	212,078 (113)	581	226,182 (107)	620	228,220 (101)	625	235,190 (103)	643	245,705 (104)	673	252,447 (103)	692	5,694,287
国際線	171,724 (100)	470	164,227 (96)	449	173,186 (105)	474	178,191 (103)	488	177,626 (100)	487	183,635 (103)	502	193,427 (105)	530	198,914 (103)	545	5,138,134
旅客便	147,617 (100)	404	139,832 (95)	382	148,265 (106)	406	153,654 (104)	421	151,197 (98)	414	157,713 (104)	431	167,334 (106)	458	171,731 (103)	470	4,295,702
貨物便	21,840 (100)	60	22,827 (105)	62	22,836 (100)	63	22,286 (98)	61	24,272 (109)	66	23,800 (98)	65	23,510 (99)	64	24,631 (105)	67	760,979
その他	2,267 (114)	6	1,568 (69)	4	2,085 (133)	6	2,251 (108)	6	2,157 (96)	6	2,122 (98)	6	2,583 (122)	7	2,552 (99)	7	81,453
国内線	19,702 (129)	54	23,010 (117)	63	38,892 (169)	107	47,991 (123)	131	50,594 (105)	139	51,555 (102)	141	52,278 (101)	143	53,533 (102)	147	556,153
旅客便	19,380 (130)	53	22,654 (117)	62	37,299 (165)	102	46,312 (124)	127	48,819 (105)	134	49,927 (102)	136	50,617 (101)	139	52,204 (103)	143	530,452
貨物便	—	—	—	—	297 (9,900)	1	766 (258)	2	883 (115)	2	1,027 (116)	3	1,004 (98)	3	686 (68)	2	4,835
その他	322 (90)	1	356 (111)	1	1,296 (367)	4	913 (70)	3	892 (98)	2	601 (67)	2	657 (109)	2	643 (98)	2	20,866
航空旅客数(人)	32,520,566 (99)	89,097	28,851,913 (89)	78,830	33,431,214 (116)	91,592	36,041,779 (108)	98,745	35,305,000 (98)	96,726	37,941,435 (107)	103,665	39,620,801 (104)	108,550	40,939,895 (103)	112,164	1,027,991,651
国際線	30,829,076 (98)	84,463	26,925,841 (87)	73,568	29,710,560 (110)	81,399	30,862,641 (104)	84,555	29,302,444 (95)	80,281	31,055,837 (106)	84,852	32,410,284 (104)	88,795	33,479,210 (103)	91,724	961,896,476
日本人	16,698,680 (100)	45,750	15,680,779 (94)	42,844	16,365,920 (104)	44,838	15,942,130 (97)	43,677	13,499,072 (85)	36,984	13,108,670 (97)	35,816	13,489,372 (103)	36,957	13,700,419 (102)	37,535	532,416,766
外国人	8,420,072 (102)	23,069	5,925,200 (70)	16,189	7,571,716 (128)	20,744	9,243,487 (122)	25,325	10,638,444 (115)	29,146	12,900,667 (121)	35,248	14,299,658 (111)	39,177	15,941,475 (111)	43,675	245,581,650
通過客	5,710,324 (87)	15,645	5,319,862 (93)	14,535	5,772,924 (109)	15,816	5,677,024 (98)	15,553	5,164,928 (91)	14,150	5,046,500 (98)	13,788	4,621,254 (92)	12,661	3,837,316 (83)	10,513	183,898,060
国内線	1,691,490 (127)	4,634	1,926,072 (114)	5,262	3,720,654 (193)	10,194	5,179,138 (139)	14,189	6,002,556 (116)	16,445	6,885,598 (115)	18,813	7,210,517 (105)	19,755	7,460,685 (103)	20,440	66,095,175
国際航空貨物量(t)	2,068,382 (105)	5,667	1,929,396 (93)	5,272	1,921,081 (100)	5,263	1,985,637 (103)	5,440	2,076,260 (105)	5,688	1,981,390 (95)	5,414	2,140,075 (108)	5,863	2,282,097 (107)	6,252	61,039,430
積込	972,154 (106)	2,663	869,140 (89)	2,375	846,154 (97)	2,318	882,381 (104)	2,417	979,800 (111)	2,684	924,200 (94)	2,525	1,016,815 (110)	2,786	1,111,861 (109)	3,046	28,455,975
輸出	761,243 (114)	2,086	684,386 (90)	1,870	584,484 (85)	1,601	575,717 (99)	1,577	634,027 (110)	1,737	573,653 (90)	1,567	613,564 (107)	1,681	699,291 (114)	1,916	20,332,969
仮陸揚	210,911 (83)	578	184,754 (88)	505	261,670 (142)	717	306,664 (117)	840	345,773 (99)	947	350,547 (113)	958	403,251 (115)	1,105	412,570 (102)	1,130	8,123,006
取卸	1,096,228 (105)	3,003	1,060,256 (97)	2,897	1,074,927 (101)	2,945	1,103,256 (103)	3,023	1,096,460 (99)	3,004	1,057,190 (96)	2,888	1,123,260 (106)	3,077	1,170,236 (104)	3,206	32,583,455
輸入	895,522 (112)	2,453	881,570 (98)	2,409	822,568 (93)	2,254	799,418 (97)	2,190	750,740 (94)	2,057	706,057 (94)	1,929	733,520 (104)	2,010	789,385 (108)	2,163	24,668,820
仮陸揚	200,706 (82)	550	178,686 (89)	488	252,359 (141)	691	303,838 (120)	832	345,720 (114)	947	351,133 (102)	959	389,740 (111)	1,068	380,851 (98)	1,043	7914,635
給油量(kℓ)	4,677,404 (98)	12,815	4,257,201 (91)	11,632	4,673,943 (110)	12,805	4,814,666 (103)	13,191	4,616,953 (96)	12,649	4,573,250 (99)	12,495	4,548,549 (99)	12,462	4,467,712 (98)	12,240	171,768,619



区 分	2018年度		累 計
	年度計	日平均	
航空機発着回数(回)	256,821 (102)	704	5,951,108
国際線	204,366 (103)	560	5,342,500
旅客便	178,110 (104)	488	4,473,812
貨物便	23,308 (95)	64	784,287
その他	2,948 (116)	8	84,401
国内線	52,455 (98)	144	608,608
旅客便	51,061 (98)	140	581,513
貨物便	489 (71)	1	5,324
その他	905 (141)	2	21,771
航空旅客数(人)	43,175,992 (105)	118,290	1,071,167,643
国際線	35,870,691 (107)	98,276	997,767,167
日本人	14,383,005 (105)	39,405	546,799,771
外国人	17,729,028 (111)	48,573	263,310,678
通過客	3,758,658 (98)	10,298	187,656,718
国内線	7,305,301 (98)	20,015	73,400,476
国際航空貨物量(t)	2,129,597 (93)	5,835	63,169,027
積込	1,055,809 (95)	2,893	29,511,784
輸 出	740,558 (106)	2,029	21,073,527
仮陸揚	315,251 (76)	864	8,438,257
取卸	1,073,788 (92)	2,942	33,657,243
輸 入	785,766 (100)	2,153	25,454,586
仮陸揚	288,022 (76)	789	8,202,657
給油量(kℓ)	4,431,669 (99)	12,142	176,200,289

(注) ①()内数値は、対前年度比。②航空機発着回数は、回転翼機を除く。③国内線旅客数は回転翼機によるものを除く。④国際航空貨物量は、東京税関の資料による。
※2012年度より国内線貨物便を追加

6 成田空港への定期乗り入れ航空会社増減

2019年10月27日公表ベース

年	月日			航空 会社数	
1978	5/20	◎成田空港開港(中華航空を除いた国際線航空会社が羽田空港から移転) フランス国営航空(フランス)、インド航空(インド)、アリタリア航空(イタリア)、英国航空(英国)、中国民航(中国)、コンチネンタル航空(米国)、カナダ太平洋航空(カナダ)、キャセイパシフィック航空(英国)、日本アジア航空(日本)、フライングタイガー航空(米国)、ガルーダ・インドネシア航空(インドネシア)、イラク航空(イラク)、イラン航空(イラン)、日本航空(日本)、大韓航空(韓国)、KLMオランダ航空(オランダ)、ルフトハンザ・ドイツ航空(ドイツ)、マレーシア航空(マレーシア)、エジプト航空(エジプト)、ノースウエスト航空(米国)、パンアメリカン航空(米国)、パキスタン航空(パキスタン)、フィリピン航空(フィリピン)、カンタス航空(オーストラリア)、ヴァリグ・ブラジル航空(ブラジル)、サベナ・ベルギー航空(ベルギー)、スカンジナビア航空(デンマーク・ノルウェー・スウェーデン)、シンガポール航空(シンガポール)、スイス航空(スイス)、アエロフロートソ連航空(ソ連)、タイ国際航空(タイ)、トランスメディタレニアン航空(レバノン)、UTAフランス航空(フランス)、センパティ航空(インドネシア)		34社	
年	月日	増	月日	減	航空 会社数
1978	8/1	全日本空輸(日本)			35社
1979			4月	センパティ航空(インドネシア)	34社
1980	5/28 8/2	ビーマン・バングラデシュ航空(バングラデシュ) ニュージーランド航空(ニュージーランド)			35社 36社
1983	4/3 4/24	ユナイテッド航空(米国) フィンランド航空(フィンランド)			37社 38社
1984	7/2	スリランカ航空(スリランカ)			39社
1985	5/8	日本貨物航空(日本)			40社
1986			2/12	パンアメリカン航空(米国)	39社
	5/2	イベリア・スペイン航空(スペイン)			40社
1987	3/3 5/22 6/1	デルタ航空(米国) アメリカン航空(米国) ブリティッシュ・カレドニアン航空(英国)			41社 42社 43社
1988			4/14	ブリティッシュ・カレドニアン航空(英国)(ブリティッシュ・エアウェイズと合併)	42社
	6/17 7/1 10/30	フェデラルエクスプレス(米国) 日本エアシステム(日本) エアパシフィック(フィジー)			43社 44社 45社
1989	5/2 6/1 7/17 8/15	ヴァージンアトランティック航空(英国) コンチネンタル航空(米国) オーストリア航空(オーストリア) トルコ航空(トルコ)	8/7	フライングタイガー航空(米国)(FDXに吸収合併)	46社 47社 48社 47社 48社
1990	1/10 4/1 6/17	アジアナ航空(韓国) 中国国際航空(中国) 中国東方航空(中国) オリmppick航空(ギリシャ)	4/1	中国民航(中国)(中国国際航空と中国東方航空に分割)	49社 49社 50社 51社
1991	2/13	ユナイテッド・パーセルサービス(米国)			52社
1992	3/31	AOMフランス航空(フランス)			53社
1993			1/1	UTAフランス航空(フランス)(エールフランス国営航空に吸収合併)	52社
	4/28	コンチネンタル・ミクロネシア航空(米国)	4/28	コンチネンタル航空(米国) コンチネンタル／ミクロネシア航空(米国)(コンチネンタル・ミクロネシア航空が路線を引き継ぐ)	52社 51社
1994			11月	オリmppick航空(ギリシャ)	50社
1995			3月	AOMフランス航空(フランス)	49社
1996			9月	トランス・メディタレニアン航空(レバノン)	48社
1997		*イラク航空(イラク)が撤退、香港が中国へ返還されたため、国から地域に変更(キャセイパシフィック航空:英国→香港)、スカンジナビア航空(スウェーデン・デンマーク・ノルウェー)から(スウェーデン)削除			47社
1998	11/24 12/1 12/2	エア・タヒチ・ヌイ(フランス) コンチネンタル航空(米国) ボーラーエアカーゴ(米国) *スカンジナビア航空に(スウェーデン)追加	12/1	イベリア・スペイン航空(スペイン)	48社 48社 49社
1999	10/1	JALウェイズ(日本)			50社
2000	6/22	トランスワールド航空(米国)			51社
2000	10/29	エア・カナダ(カナダ)	10/29	カナディアン航空(カナダ)(エア・カナダと合併)	51社
	11/2 12/15	ベトナム航空(ベトナム) アエロメヒコ(メキシコ)			52社 53社
2001	1/1	イベリア・スペイン航空(スペイン)			54社



年	月日	増	月日	減	航空会社数
2001	7/2	シンガポール・エアラインズ・カーゴ (シンガポール)			55社
	10/29	中国南方航空 (中国)	10/28	サベナ・ベルギー航空 (ベルギー)	54社
2002			12/2	アエロメヒコ航空 (メキシコ)	55社
	3/31	エア・ジャパン (日本)	3/31	スイス航空 (スイス)	54社
		メキシカーナ航空 (メキシコ)			55社
		スイスエアラインズ (スイス)			56社
	4/18	エア・ニッポン (日本)			57社
		チャイナエアライン (台湾)			58社
		エバー航空 (台湾)			59社
		ジェイ・エア (日本)			60社
		中日本エアラインサービス (日本)			61社
		フェアリンク (日本)			62社
		中国南方航空 (中国) *自社機材での運航開始			62社
	4/20	ニューギニア航空 (バブアニューギニア)			63社
		中国北方航空 (中国)			64社
	4/22	MIATモンゴル航空 (モンゴル)			65社
	4/23	ベトナム航空 (ベトナム) *自社機材での運航開始			65社
	4/26	中国西南航空 (中国)			66社
	5/8	中国西北航空 (中国)			67社
	7/1	AHKエアホンコン (香港)			68社
2003			7/31	トランスワールド航空 (米国)	67社
	11/6	ウズベキスタン国営航空 (ウズベキスタン)			68社
	3/30	エア・カレドニアインターナショナル (フランス)	1/1	中国西南航空 (中国) (中国国際航空と合併)	67社
	8/21	USエアウェイズ (米国)	3/30	中国北方航空 (中国) (中国南方航空と合併)	67社
	10/26	ルフトハンザカーゴ (ドイツ) *ルフトハンザ航空の貨物部門分社化		中国西北航空 (中国) (中国東方航空と合併)	66社
2004					67社
	4/2	JALグループ (日本) *日本航空ジャパンを追加	4/1	日本エアシステム (日本) (日本航空と統合)	68社
	9/1	香港ドラゴン航空 (香港)			69社
2005			9/1	JALグループ (日本) で1社とする	69社
	5/19	厦門航空 (中国)	2/17	エア・セントラル (中日本エアラインサービスから名称変更) (日本) (全日本空輸が路線を引き継ぐ)	68社
			4/1	ジェイエア (日本) (日本航空が路線を引き継ぐ)	67社
2006					68社
	8/9	中国貨運航空 (中国)			69社
	10/31	ANA&JPエクスプレス (日本)			70社
2007					71社
	11/18	アエロメヒコ (メキシコ)			72社
	6/8	アエロフロート・カーゴ (ロシア)			73社
2008					73社
	9/7	エアブリッジ・カーゴ (ロシア)			72社
			3/31	エア・ニッポン (日本) (全日本空輸が路線を引き継ぐ)	71社
	4/25	トランスエアロ航空 (ロシア)		日本アジア航空 (日本)	72社
	5/21	ジェットエアウェイズ (インド)			72社
	10/26	南アフリカ航空 (南アフリカ)			73社
2009					74社
	12/18	ジェットスター航空 (オーストラリア)			75社
			3/29	ヴァリグ・ブラジル航空 (ブラジル)	74社
2010				ピーマン・バングラデシュ航空 (バングラデシュ)	73社
	7/1	深圳航空 (中国)		香港ドラゴン航空 (香港)	72社
					73社
	3/28	エミレーツ航空 (UAE)	1/31	ノースウエスト航空 (米国) (デルタ航空との合併による)	72社
		エティハド航空 (UAE)	3/28	トランスエアロ航空 (ロシア)	72社
		マカオ航空 (マカオ)			73社
	4/26	カタール航空 (カタール)			74社
	5/11	トランスエアロ航空 (ロシア)			75社
			7/1	ANA&JPエクスプレス (日本) (エアー・ジャパンと合併)	76社
	10/15	TAMブラジル航空 (ブラジル)			75社
	10/31	香港航空 (香港)	10/31	エアパシフィック航空 (フィジー)	76社
		中国国際貨運航空 (中国)		厦門航空 (中国)	76社
				ポーラーエアカーゴ (米国)	75社
2011			12/1	JALウェイズ (日本) (日本航空インターナショナルとの合併による)	74社
	3/27	ポーラーエアカーゴ (米国)	12/23	コンチネンタル・ミクロネシア航空 (米国) (コンチネンタル航空との合併による)	73社
			3/27	イベリア・スペイン航空 (スペイン)	73社

年	月日	増	月日	減	航空会社数	
2011	6/23	エアプサン (韓国)	10/30	アエロフロート・カーゴ (ロシア)	72社	
	7/1	イースター航空 (韓国)			73社	
	10/30	スカイマーク (日本)		トランスアエロ航空 (ロシア)	74社	
		エバーグリーン航空 (米国)		上海航空 (中国)	74社	
				メキシカーナ航空 (メキシコ)	73社	
2012			3/3	コンチネンタル航空 (米国) (ユナイテッド航空との合併による)	72社	
	4月	ラン航空 (チリ)	10/28		73社	
	6/19	ウラジオストク航空 (ロシア)			74社	
	6/21	トランスアエロ航空 (ロシア)			75社	
	7/3	ジェットスター・ジャパン (日本)			76社	
	8/1	エアアジア・ジャパン (日本)			77社	
	9/3	山東航空 (中国)			78社	
	10/28	S7航空 (ロシア)		イラン航空 (イラン)	78社	
	10/29	スクート (シンガポール)			79社	
		ABXエア (米国)			80社	
	11/15	バンコク・エアウェイズ (タイ)			81社	
	12/1	エアベルリン (ドイツ)			82社	
2013	2/28	ヴァージン・オーストラリア (オーストラリア)	1/14	香港航空 (香港)	81社	
	7/1	チェコ航空 (チェコ)	7/11		82社	
	7/4	チェジュ航空 (韓国)			83社	
					84社	
	9/26	トランスアジア航空 (台湾)		エジプト航空 (エジプト)	83社	
					84社	
				トランスアエロ航空 (ロシア)	83社	
				エバーグリーン航空 (米国)	82社	
				ウラジオストク航空 (ロシア) (サハリン航空との統合)	81社	
	10/27	ピーチ・アビエーション (日本)		10/26		81社
				10/27	エアアジア・ジャパン (日本)	81社
				ABXエア (米国)	80社	
				81社		
		11/7	シンガポール・エアラインズ・カーゴ (シンガポール)	80社		
				81社		
2014			1/30	中国貨運航空 (中国)	80社	
	3/30	セブパシフィック航空 (フィリピン)	3/30	TAM航空 (ブラジル)	80社	
	4/21	エアインチョン (韓国)	10/26		81社	
	7/31	オーロラ航空 (ロシア)			82社	
	8/1	Spring Japan (日本)			83社	
	9/1	タイ・エアアジアX (タイ)			84社	
	10/2	ジェットアジア・エアウェイズ (タイ)			85社	
	10/26	エチオピア航空 (エチオピア)		スカイマーク (日本)	85社	
		エジプト航空 (エジプト)			86社	
	11/21	エアアジアX (マレーシア)			87社	
	12/8	香港エクスプレス (香港)			88社	
				12/25	ケニア航空 (ケニア)	87社
2015			1/16	オーロラ航空 (ロシア)	86社	
			2/2	ヴァージンアトランティック航空 (英国)	85社	
	4/2	タイガーエア台湾 (台湾)	5/31		86社	
		TAM航空 (ブラジル)		ジェットアジア・エアウェイズ (タイ)	87社	
					86社	
	6/14	ニキ航空 (オーストリア)			87社	
	8/6	厦門航空 (中国)	8/20		88社	
				エアアジアX (マレーシア)	87社	
				USエアウェイズ (米国)	86社	
				チェコ航空 (チェコ)	85社	
					86社	
					87社	
2016	1/14	LOTポーランド航空 (ポーランド)	4/28		88社	
	1/18	四川航空 (中国)			89社	
	3/27	ティーウェイ航空 (韓国)			90社	
				エアインチョン (韓国)	89社	
	5/22	オーロラ航空 (ロシア)			90社	
	7/1	香港航空 (香港)			91社	
		ジンエアー (韓国)			92社	
	7/23	ハワイアン航空 (米国)			93社	
	9/1	ファイアーフライ (マレーシア)			94社	
				9/5	オーストリア航空 (オーストリア)	93社
	10/19	イベリア航空 (スペイン)		94社		
			10/29	ウズベキスタン国営航空 (ウズベキスタン)	93社	



年	月日	増	月日	減	航空会社数
2016	11/27	ロイヤルブルネイ航空 (ブルネイ)	11/22	トランスアジア航空 (台湾)	92社 93社
2017	1/31 2/27 3/2 3/28 5/25 10/29 10/31	ヤクーツク航空 (ロシア) エア・セيشェル (セーシェル共和国) アトラスエア (米国) ウズベキスタン国営航空 (ウズベキスタン) インドネシア・エアアジアX (インドネシア) アエロロジック (ドイツ) エアソウル (韓国)	3/7 10/28 10/29	ニキ航空 (オーストリア) ウズベキスタン国営航空 (ウズベキスタン) エアベルリン (ドイツ)	94社 95社 96社 95社 96社 97社 96社 96社 97社
2018	3/13 3/28 5/16 6/1 7/3 10/28 12/7	ウズベキスタン国営航空 (ウズベキスタン) カーゴルクス航空 (ルクセンブルク) オーストリア航空 (オーストリア) ノックスコート (タイ) フィジー・エアウェイズ (フィジー共和国) マンダリン航空 (台湾) タイ ライオンエアー (タイ)	1/7 3/25 10/28 10/31 11/5	カーゴルクス (イタリア) エア・セيشェル (セーシェル共和国) オーストリア航空 (オーストリア) ウズベキスタン国営航空 (ウズベキスタン) ヤクーツク航空 (ロシア)	96社 97社 96社 97社 98社 99社 100社 100社 99社 98社 99社
2019	1/11 3/8 4/1 5/31 7/6 8/2 9/30 10/27 10/30 11/20	ベトジェット (ベトナム) ウズベキスタン国営航空 (ウズベキスタン) オーストリア航空 (オーストリア) パキスタン国際航空 (パキスタン) ニューギニア航空 (パプアニューギニア) カリッタエア (米国) エルアル イスラエル航空 (イスラエル) 春秋航空 (中国) 吉祥航空 (中国) カーゴルクスイタリア (イタリア) サウディア (サウジアラビア) 中国貨運航空 (中国) SCAT航空 (カザフスタン) エアアジアX (マレーシア)	1/15 2/16 4/1 5/16 10/27 11/2	インドネシア・エアアジアX (インドネシア) パキスタン国際航空 (パキスタン) ニューギニア航空 (パプアニューギニア) ジェットエアウェイズ (インド) パニラエア (日本) オーストリア航空 (オーストリア) ニューギニア航空 (パプアニューギニア)	100社 99社 98社 99社 99社 98社 99社 100社 101社 102社 101社 101社 100社 101社 102社 103社 104社 105社 106社 105社 106社

(注) 2014年冬ダイヤ(2014年10月26日～)以降、航空会社数に運休は含まないカウント数へ変更

参 考 文 献

「平成30年度 観光の状況」
「令和元年度 観光施策」／国土交通省
日本政府観光局(JNTO)資料
「外国貿易概況」／日本関税協会
東京税関調査統計資料
空港管理状況調査／国土交通省
"2017 ACI World Airport Traffic Report"／
Airport Council International
「千葉県統計年鑑」／千葉県総合企画部
「地方財政白書」／総務省
国勢調査／総務省統計局

制 作：(株)トラベルジャーナル
写 真 協 力：Charlie FURUSHO
中西文明
(株)グリーンポート・エージェンシー
表 紙 写 真：Charlie FURUSHO



発行：成田国際空港株式会社 広報部
〒282-8601 成田市成田国際空港内NAAビル
URL <https://www.naa.jp/>